

国府中学校特別教室等空調設備整備工事

I

建築改修工事仕様

1

質問回答書、現場説明書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（最新版）」（以下「改標仕」という。）、「公共建築工事標準仕様書（最新版）」（以下「標仕」という。）及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書（最新版）」（以下「解体共仕」という。）による。

2

特記事項

1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と⊗印が付いている場合は、共に適用する。

3）特記事項欄の行末に記載の（ ）内表示番号は、木標仕の該当事項又は該当表を示す。

章

項

目

特記事項

項

1

一般共通事項

①適用基準等

②概成工期

③電気保安技術者

④発生材の処理等

⑤材料の品質等

6技能士

⑦特別な材料の工法

⑧施工中の環境保全等

◎建築工事標準詳細図
※工事写真の撮り方
◎公共建築工事標準仕様書
◎公共建築改修工事標準仕様書
工事期限より_____日前
・電気主任技術者 ※監督職員 の承諾を受けた者 (1.3.3)

種別	対象品目
◎発注者へ引渡しを要するもの	※PCB含有機器類 ※PCB含有ｼｰﾘﾝｸﾞ材 ※微量PCB ・協議が必要な場合
◎再利用を図るもの ・再資源化を図るもの(注1)	※ｺﾝｸﾘｰﾄ塊 ※建設混合廃棄物 ・硬質ポリ塩化ビニル管・継手 ※ｱｽﾌﾙﾄ･ｺﾝｸﾘｰﾄ塊 ※金属類 ・ガラス ※建設発生木材 ※小形二次電池 ※建設汚泥 ・蛍光ランプ・HIDランプ
・処理に注意を要するもの	・ひ素・カドミウム含有せっこうボード ・せっこうボード ・0.1%を超えて石綿を含有するもの ・CCA処理木材
・特別管理産業廃棄物	・廃石綿(除去作業に使用した保護具及び養生材を含む) ・廃酸、廃アルカリ ・ダイオキシン含有廃棄物 ・廃油
・特殊な建設副産物	・フロン ・ハロン ・特定化学物質（ ） ・煙感知器(イオン化式) ・六フッ化硫黄(SF6)ガス ・PFOS

(注1) 上記以外の廃棄物についても、可能な限り再資源化に努めること。

1.本工事に使用する材料・機材等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上のものとする。ただし、同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。

2.「評価名簿による」と特記されたものについては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新版)」による。

3.本県に本社、支店、営業所を有するメーカー製品を使用すること。

4.化学物質を放散する建築材料等
1)建材・施工材の使用材料の選定においては、ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物を放散しないか、放散が十分少ないものをJISまたはJAS等を参考に適切に選択すること。ホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆を原則とし、該当する材料等がない場合は、施工面積に十分注意した上でF☆☆☆☆を使用する。
2)接着剤はホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物を放散しないか、発散が極めて少ないもの、または含有量が少なく難揮発性の可塑剤を使用しているものとし、ホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆を原則とする。
3)仕上塗材、塗料、シーリング材、接着剤その他の化学製品の選択及び取扱いに当たっては、当該製品の製造所が作成した化学物質等安全データシートの内容を把握するとともに、現場に常備し、記載内容の周知徹底を図ること。
4)施工中、接着剤・塗料等の塗布に当たっては、使用方法や塗布量を十分に管理し、適切な乾燥時間をとること。また、施工時、施工後の通風、換気を十分に行之い、室内に放散した溶剤成分等の希釈を図ること。

5.本工事に使用する材料については、JIS Z 7253（GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（SDS））による安全データシート（SDS）等により確認を行い、アスベスト含有建材を使用しない。

工事種別	技能検定職種	技能検定作業
・仮設工事	とび	とび作業
・防水改修工事	防水施工	アスファルト防水工事作業 ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 アクリルゴム系塗膜防水工事作業 合成ゴムシート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業 セメント系防水工事作業 シーリング防水工事作業 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 FRP防水工事作業
・外壁改修工事		左官(左官作業) ・タイル張り(タイル張り作業) 樹脂接着剤注入施工(樹脂接着剤注入工事作業) 塗装(建築塗装作業)
・建具改修工事		サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ガラス施工（ガラス工事作業） 自動ドア施工（自動ドア施工作業）
・内装改修工事		内装仕上施工（・プラスチック系床仕上工事作業 カーペット系床仕上作業 ボード仕上工事作業 鋼製下地工事作業） 表装（壁装作業）
・塗装改修工事		塗装（建築塗装作業）
・排水工事	配管	建築配管作業
・舗装工事	路面表示施工	溶融ペイントハンドマーカ－工事作業 加熱ペイントマシンマーカ－作業
・植栽工事	造園	造園工事作業

(1.5.2)

章

項

目

特記事項

項

9

化学物質の濃度測定

10技術検査

11工事の下請負

12報告書

13工事の一時中止

14完成時の提出図書等

15設備工事との取り合い

16設計GL

工事完成前に、ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の室内濃度の測定を行い、測定結果報告書を監督員に提出すること。(1.5.9)
また、測定の結果が、厚生労働省が設定した化学物質の室内濃度の指針値を超えた場合は、監督員と協議すること。
1.測定対象化学物質
2.測定対象室○測定箇所数 11箇所 ※ 図示
3.測定方法
1) 空気の採取
※ 拡散方式（ ※ 測定パッチ ○ パッシブサンプラー ・ パッシブガスクューブ） ・ 吸引方式
2) 測定・分析は、厚生労働省が室内空気中化学物質の濃度を測定するための標準的方法として示した以下の方法によって行う。または、以下と関連の高い方法によって行うこともできる。
ホルムアルデヒド 高速液体クロマトグラフ法
揮発性有機化合物 ガスクロマトグラフィー質量分析法
工事施工途中における技術検査(「中間検査」)は下表を原則とし、監督職員と協議すること。(1.6.2)
工事写真等を電子データにより検査する際に必要となる機器の準備及び操作は受注者が行う。
1)新営工事

構 造	検 査 工 程
※延べ面積が500㎡を超えるもの	1.軸組完了時

2)改修工事
・躯体の改修及び補修が工事に含まれ、仕上げ工事により品質の確認が困難と予想される場合は、改修・補修工法の施工完了時に行う。
・屋根等の主要な工事部分について、工事施工中の仮設足場がなければ確認困難と予想される場合は、仮設足場撤去前に新営工事に準じて行う。
・発注者が必要と認めた工程(別途指示による)
1.受注者は、下請負に付する場合には、次の各号に掲げる要件をすべて満たさなければならない。
1)受注者が、工事の施工につき総合的に企画、指導及び調整するものであること。
2)下請負者が大磯町の工事指名競争参加資格者である場合には、指名停止期間中でないこと。
3)下請負者は、当該下請負工事の施工能力を有すること。
2.受注者は、工事を下請負に付する場合には、可能な限り地元建設業者を使用することとする。
1.施工体制台帳及び施工体系図
本工事を施工するために下請負契約を締結したものは、下請負業者と契約締結後全ての下請契約を2週間以内に監督員に一部を提出する。また、施工体制台帳及び施工体系図は工事現場に備えるものとし、現場表示も併せて行うものとする。
2.主要機器資材メーカー報告書
本工事において使用する主要機器資材メーカー報告書1通を監督員に提出し、通知する。
3.技能士報告書
本特記仕様書第1章第6項で技能士が適用された場合は、報告書1通を監督員に提出し通知する。
4.再生資源利用計画書(実施書)、再生資源利用促進計画書(実施書)
工事完了後「建設副産物情報交換システム」(COBRIS入力システム)により、入力したデータを提出する。
なお、データの提出が困難な場合は、監督職員の承諾を得た上で、紙による提出とする。
5.施工計画書(監督職員の承諾を受けたもの)
工事期間中に提出した施工計画書を取りまとめ、完成時に成果品の一部として監督職員へ提出する。提出方法については監督職員の指示による。
1)工事の一時中止に係る計画の作成
契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画「基本計画書」を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。
なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労働者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。
2)工事の施工を一時中止する場合、工事の続行に備え工事現場を保全すること。

提出図書等		部数	備考
完成写真(改修工事の場合は着工前を左、完成写真を右に入れたもの)		※2部	
工事写真		※1部	
完成図	※二つ折り製本	※2部	
	※A4判二つ折り製本	※1部	
	・縦装紙製本(折りたたみ→A4)	※1部	
	※JWCAD形式、及びPDF形式	※1部	CD-Rにて提出
	※原図	※1部	
施工計画書(工事期間中に監督職員の承諾を受けたものを取りまとめたもの)		※1部	
承認図		※1部	
保全に関する資料(標仕(1.7.3)(a)に示す内容)		※1部	関係部署に1部
工事関係資料		※1部	
その他監督職員が指示する書類		監督職員の指示による	

(1.7.1～3)

施工範囲
・図示された貫通孔・開口部の型枠及び補強筋
・図示された壁・天井の仕上材及び下地材の切込み並びに下地材の補強
・駆動装置が電動による建具の2次配線及び操作スイッチ
・自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強
施工図
※設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

※図示 ・現状平均地盤高 ・監督員の指示による

		国府中学校特別教室等空調設備整備工事	図面名称		図面番号
			特記仕様書1		A-02
			単位	数量	単位
			—	● ● ● ●	

2

仮設工事

①

仮囲い

②

交通誘導員

③

工事表示板

④

足場その他

⑤

養生

6

仮設間仕切り

7

監督職員事務所

⑧

工事用水

⑨

工事用電力

⑩

工事用通路

11

その他の仮設

特記事項

仮囲いの位置及び延長は図示による。
・ガードフェンス（H=1800） ・波形鉄板（H= ） ・単管シート（H= ）
・キタダゲート（H= ， W= ）× 箇所
※ 配置する ・ 配置しない
※ 設置する

内部足場 ※ 脚立、足場板等 <2.2.1>
防護シート○ 設ける ・ 設けない
材料の運搬 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 <表2.2.2>

足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省）」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。

家具の移動 ・ 行う（図示） ○ 行わない <2.3.1>
既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管 ・ 行う ・ 行わない
養生の方法
保管場所

・ 設ける（図示） ・ A種 ・ B種 ※ C種 <2.3.2>表2.3.1>

※ 設けない（請負者事務所に打合せ会議室を確保する）・ 設ける（規模 m程度 請負者事務所と同様 ・可 ・否）<2.4.1>

構内既存の施設 ○ 利用できる（※有償 ・無償） ※ 利用できない

構内既存の施設 ○ 利用できる（※有償 ・無償） ※ 利用できない

※ 指定しない ・ 指定する（図示）

3

内装改修工事

改修範囲

1

石こうボードその他ボード張り

<6.1.3>
既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲
※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・ 図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・ 図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※ 既存のまま
・ 図示の範囲

<6.13.2～3><表6.13.1><表6.13.5>

種類又は記号	種別など	厚さ（mm）	規格番号
けい酸カルシウム板（繊維強化セメント板）0.8FK又は1.0FK		壁	・ 6（不燃） ・ 10（不燃） ・ 12（不燃）
		天井	・ 6（不燃） ・ 12（不燃）
グラスウール吸音ボード（吸音材料）GW－B	ガラスクロス（JIS A 3414 EP18程度） 額縁張り品		25（不燃）
ロックウール化粧吸音板（吸音材料）DR	※ 内部用 ・ 軒天用	普通	・ 9（不燃） ・ 12（不燃）
		立体模様	・ 12（不燃） ・ 15（不燃） ・ 19（不燃）
せっこうボード（せっこうボード製品）GB－R		壁	・ 9.5（準不燃） ・ 12.5（不燃） ・ 15（不燃）
		天井	○ 9.5（準不燃） ・ 12.5（不燃）
シーリングせっこうボード（せっこうボード製品）GB－S		壁	・ 12.5（準不燃）
		天井	・ 9.5（準不燃） ・ 12.5（準不燃）
化粧せっこうボード（せっこうボード製品）GB－NC	トラバーチン模様 色 ※白 ・黄		○ 9.5（不燃）
化粧せっこうボード（せっこうボード製品）GB－D	木目模様 木目模様（裏棧付き） 特殊模様	壁	・ 9.5（準不燃） ・ 12.5（不燃）
		天井	・ 9.5（準不燃） ・ 12.5（不燃）
せっこうボードの目地処理 ・ 継目処理工法 ・ 突き付け工法 ・ 突き付けV目地工法 ・ 目透し工法			

4

環境配慮改修工事

①

一般事項

②

除去工事共通事項

③

石綿含有成形板の処理

④

その他

石綿等の取扱については、石綿障害予防規則（平成17年2月24日厚生労働省令第21号）（以下、「石綿則」という。）を遵守すること。 <9.1.1>
施工調査
・ 行わない。
※ 行う（調査結果は図面等に記録し、監督職員に提出すること。調査の結果、設計図書と異なる場合は監督職員と協議する。）
調査箇所 ※ 図示 ・ （ ）
調査事項 ※ 石綿含有建材等の使用部位
※ 石綿含有建材等の種類、厚さ
※ 施工範囲と工事範囲区分
※ 廃棄物などの搬出方法
・
・
石綿含有分析 <9.1.1>
○ 行わない
・ 行う（分析結果は監督職員に提出する。） 分析方法 ※ JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有測定法」による。

石綿粉じん濃度測定 <9.1.1>
・ 行わない。

専門工事業者 <9.1.2>
石綿含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に相応した技術を有することを証明する書類を監督員に提出する。
作業主任者の選出 <9.1.2>
石綿作業主任者技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を終了したもののの中から、「石綿作業主任者」を選任しなければならない。
除去作業者の教育 <9.1.2>
作業者は、就業時に石綿則に基づく教育を受けた者とする。また、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常のない者とする。
特別管理産業廃棄物管理責任者の選出 <9.1.2>
排出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを配置しなければならない。

石綿含有成形板の除去工事 <9.1.5>
・ 行う（適用範囲 ・図示 ・ ）
・ 行わない

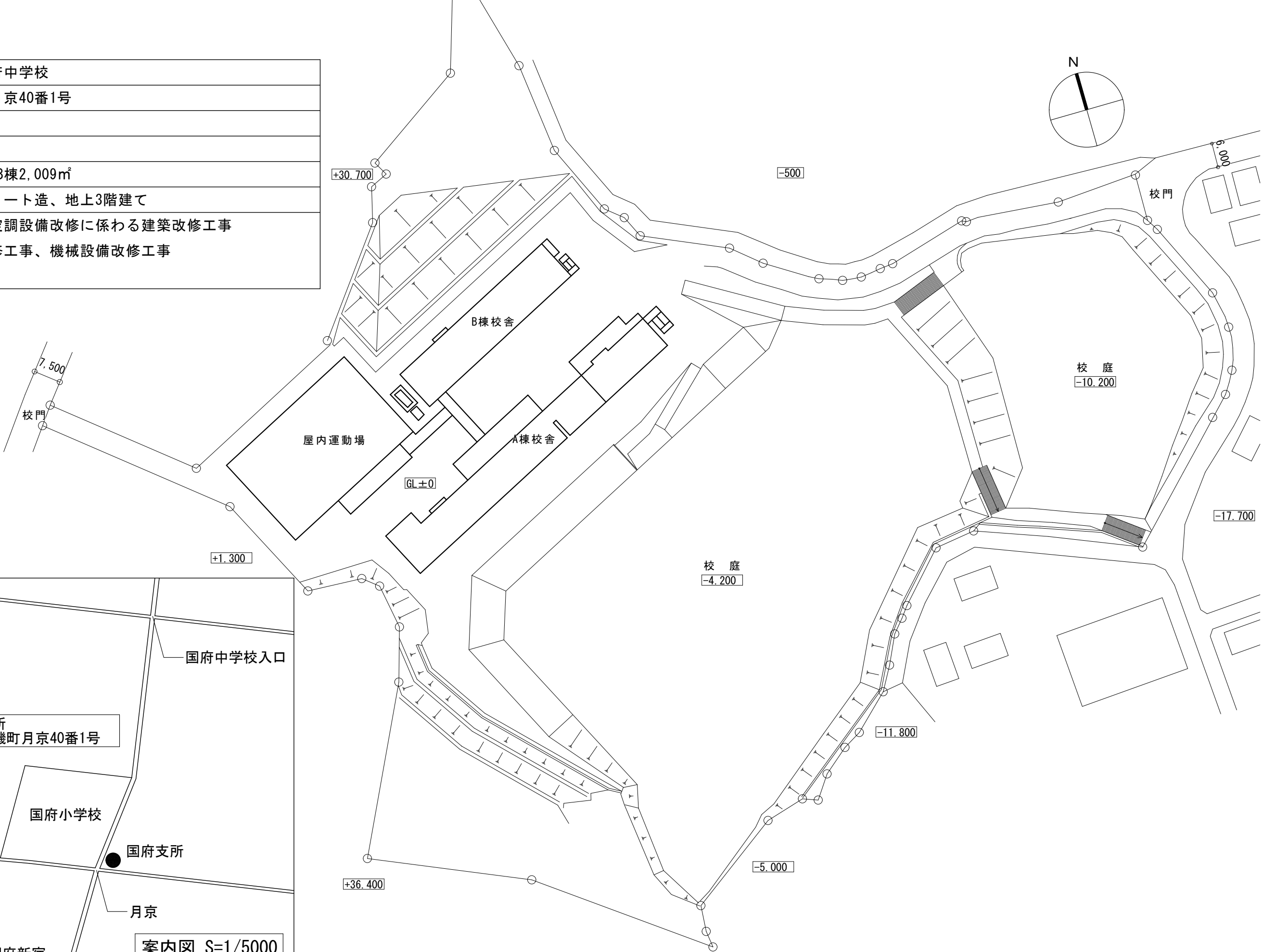
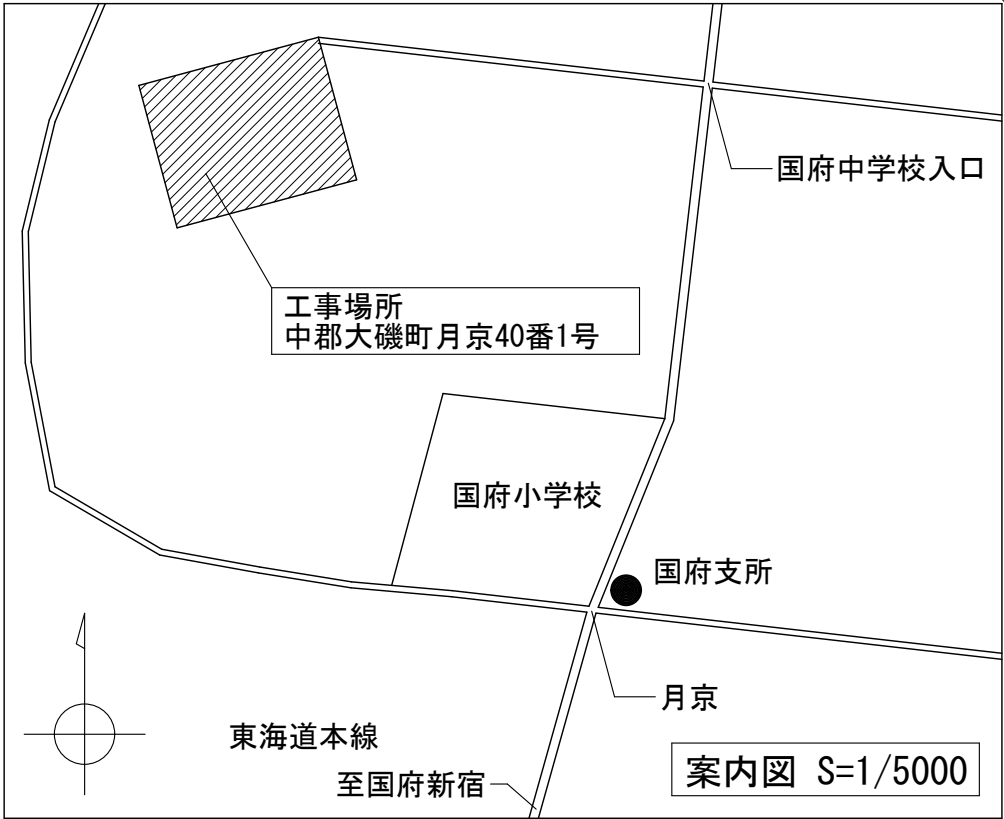
養生 <9.1.5>
※ 作業場は、養生シート等を用いて区画する。

除去工法 <9.1.5>
※ 作業場は、散水等により湿潤化し、手ばらしによること。
※ やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した状態で行うこと。
※ 除去物については、粉じんの飛散防止に努め、特に破砕された石綿含有成形板については、湿潤化の上、丈夫なプラスチック袋に入れる等の飛散防止措置を講ずること。

石綿含有材除去について
石綿含有する吹付材及び塗装材の面に設備用のアンカー等を設置する場合
粉じん飛散抑制剤を吹付し該当部を除去し粉じん飛散防止抑制剤を吹付すること。
除去物については、粉じんの飛散防止に努め、丈夫なプラスチック袋に入れる等の飛散防止措置を講ずること。

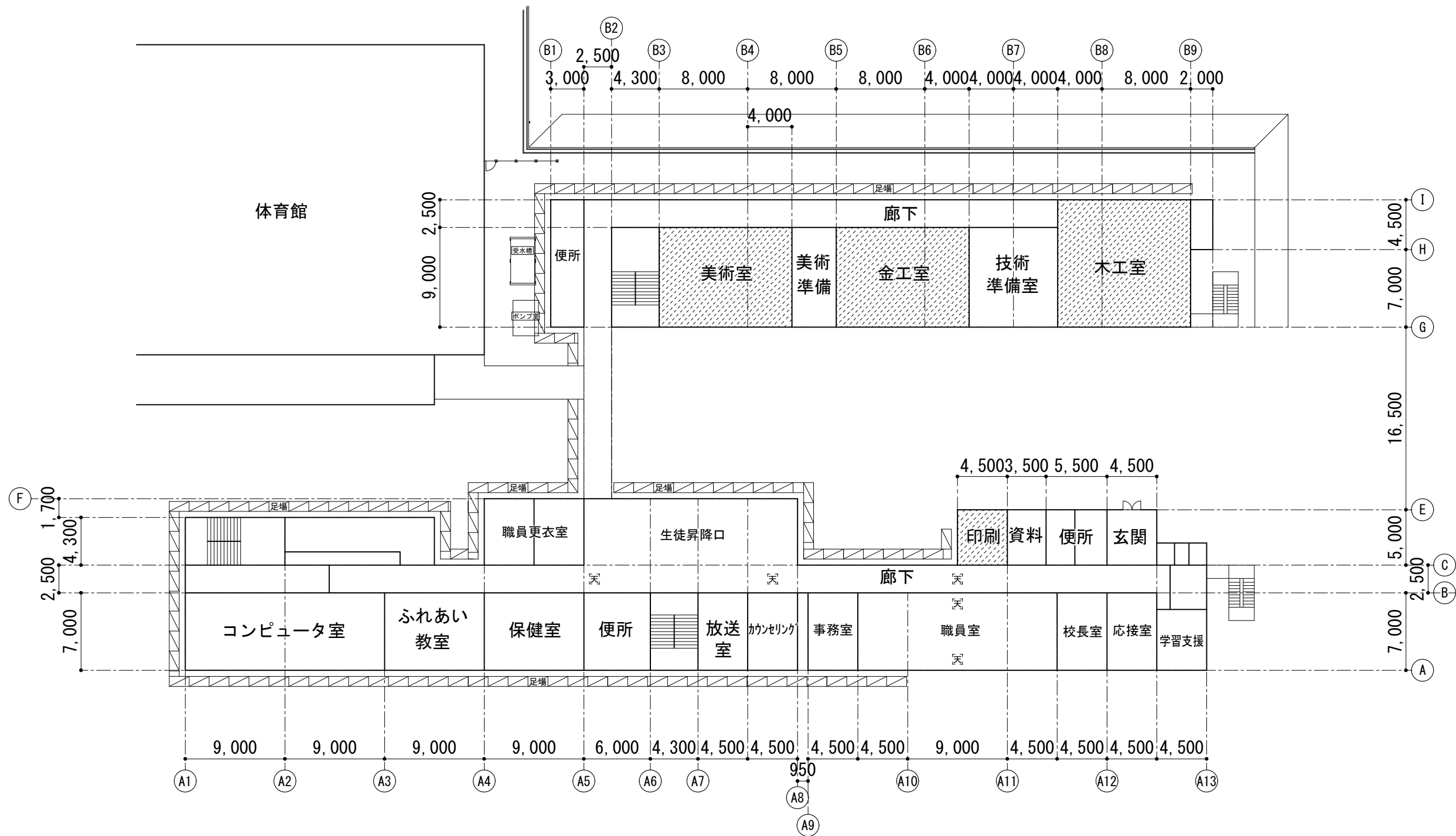
		国府中学校特別教室等空調設備整備工事	図面名称 特記仕様書2	日付	図面番号 A-03
			種別 —	数量 ● ● ● ●	区分

建物概要	
建物名称	大磯町立国府中学校
所在地	中郡大磯町月京40番1号
主要用途	中学校
敷地面積	32,061㎡
床面積	A棟3,201㎡ B棟2,009㎡
規模・構造	鉄筋コンクリート造、地上3階建て
工事概要表	特別教室等空調設備改修に係わる建築改修工事 電気設備改修工事、機械設備改修工事



B棟

A棟



職員室、廊下天井仕上表

部位	仕 上
天井	化粧石膏ボード(下地石膏ボードt9.5)

凡例
は石綿含有材料(レベル3)を示す。撤去する場合は適切な撤去処分を施す。

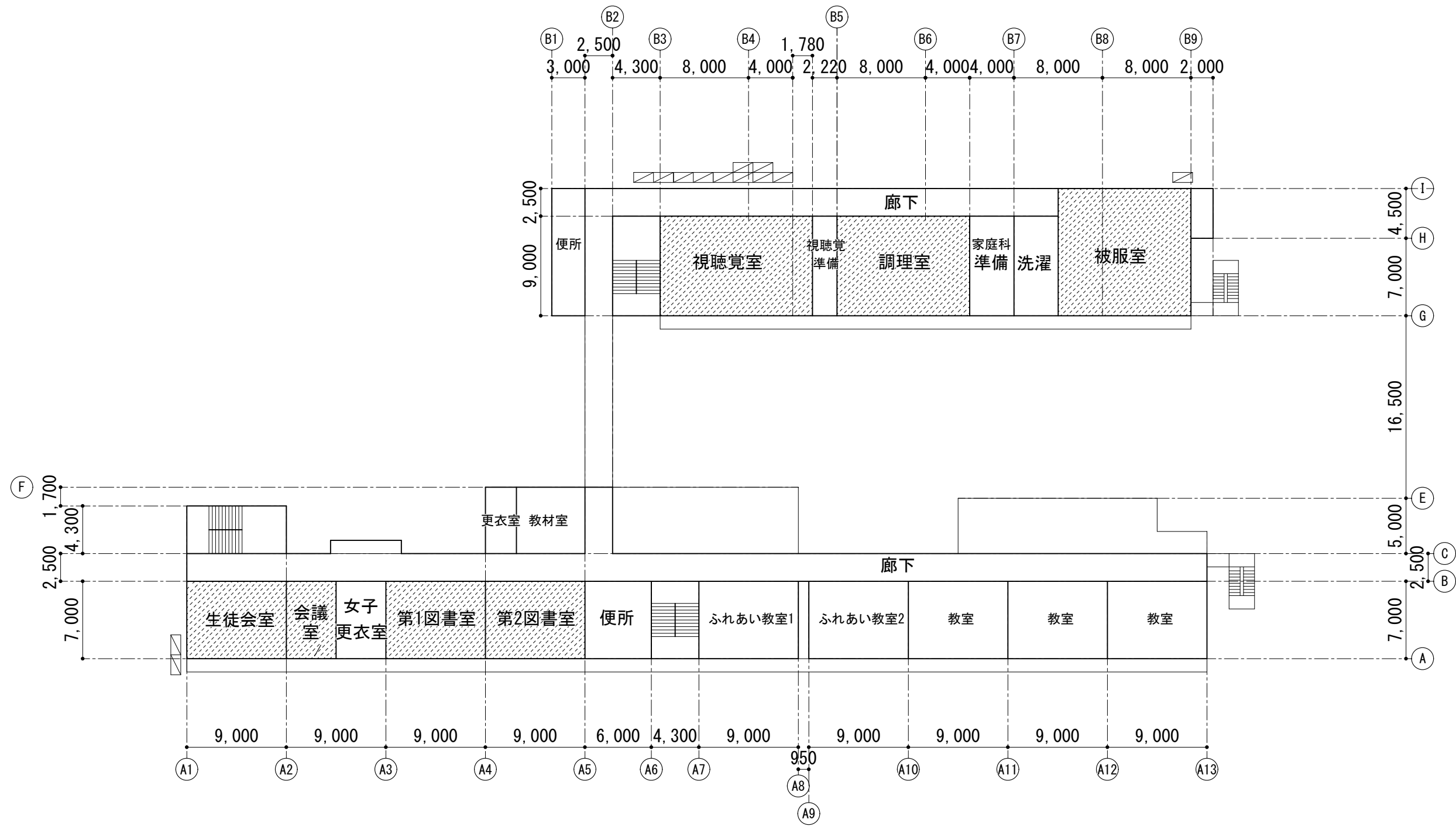
※職員室、廊下の点検口設置に関しては周囲のボード必要最低限を撤去し、同材にて改修する。

凡例

- 工事対象室
- 外部足場
- 天井材撤去新設

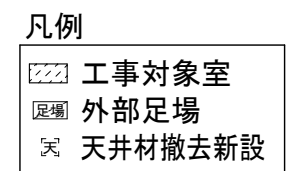
B棟

A棟

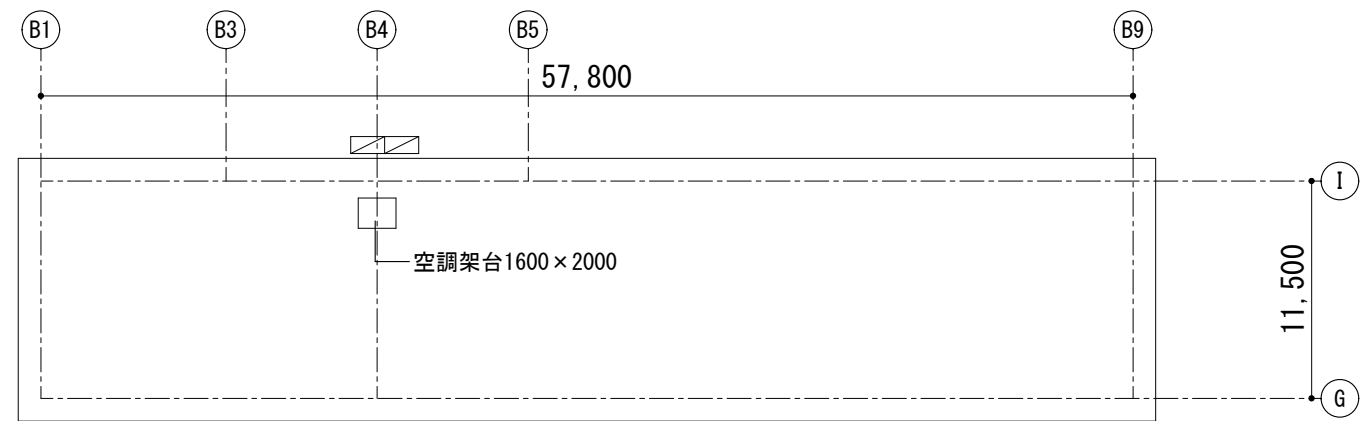


凡例

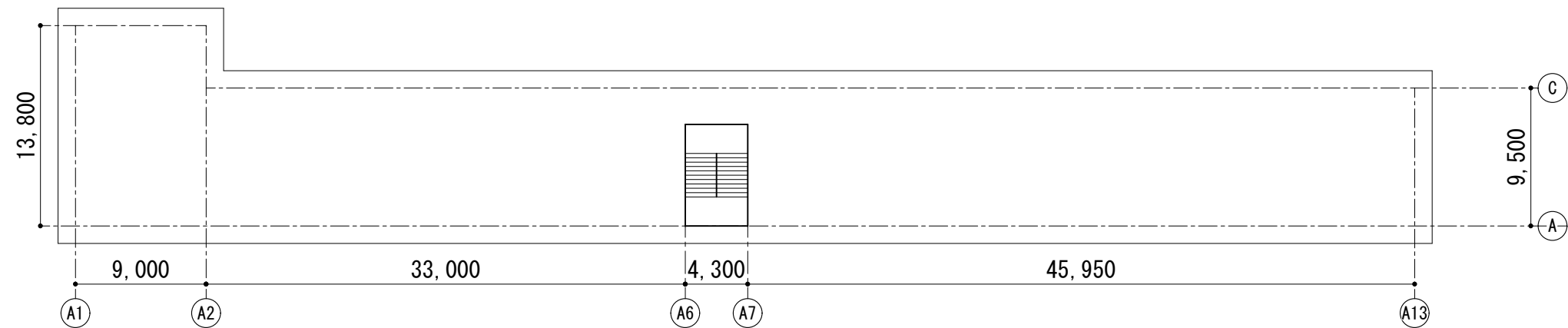
	工事対象室
	外部足場
	天井材撤去新設



B棟



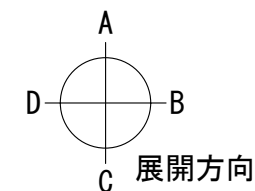
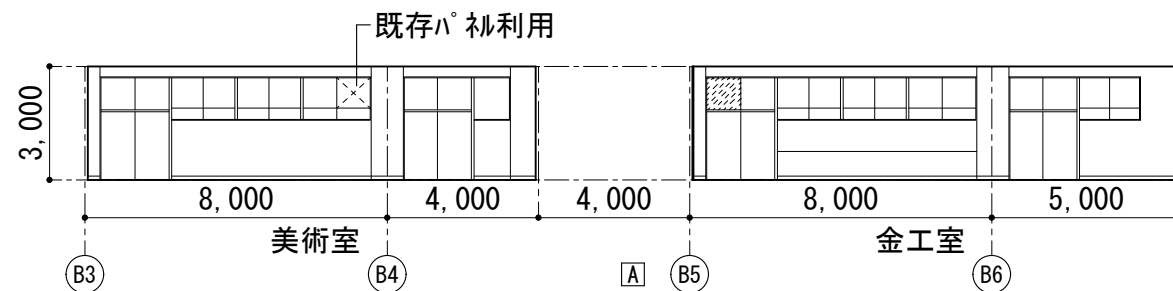
A棟



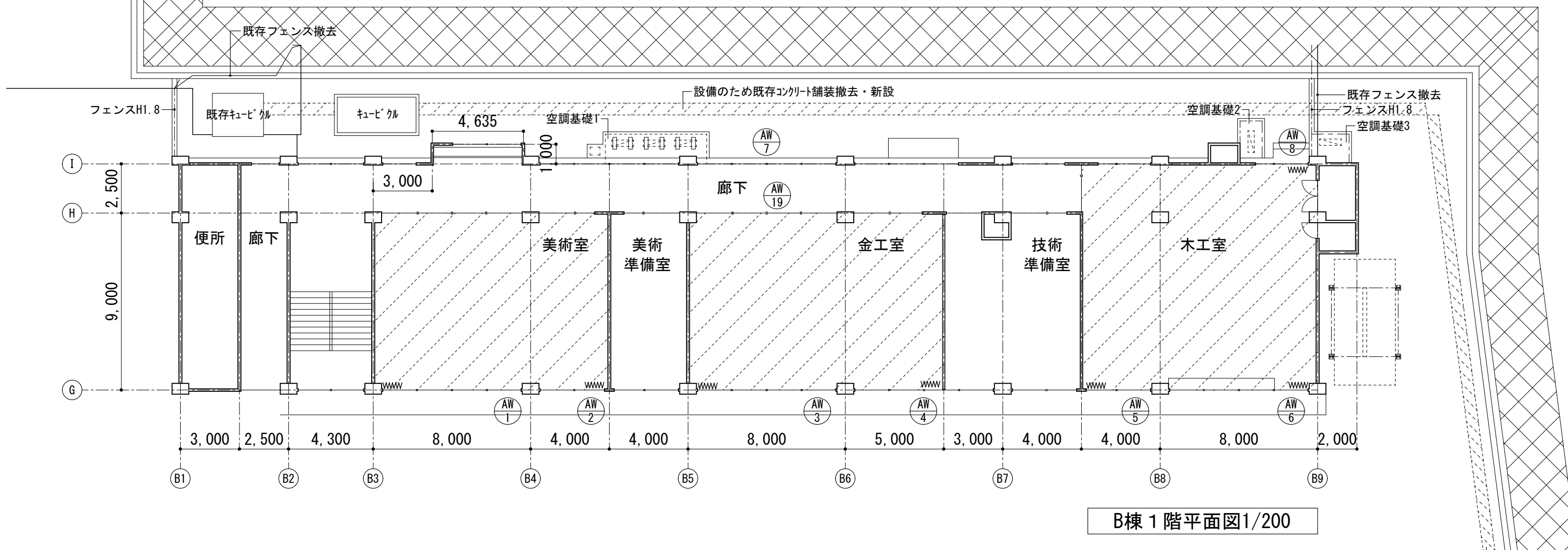
凡例

- 工事対象室
- 外部足場
- 天井点検口450角(廊下)

国府中学校特別教室等空調設備整備工事				屋上平面図		A-08	
1/400							



美術室・金工室部分展開図1/200



B棟 1 階平面図1/200

美術室、金工室、木工室仕上表

部位	仕 上
壁	仕上塗材

設備のため既存アスファルト舗装撤去・新設

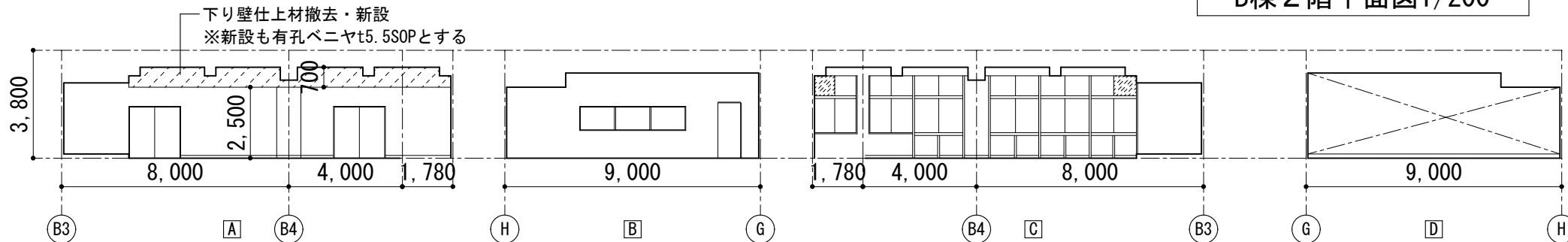
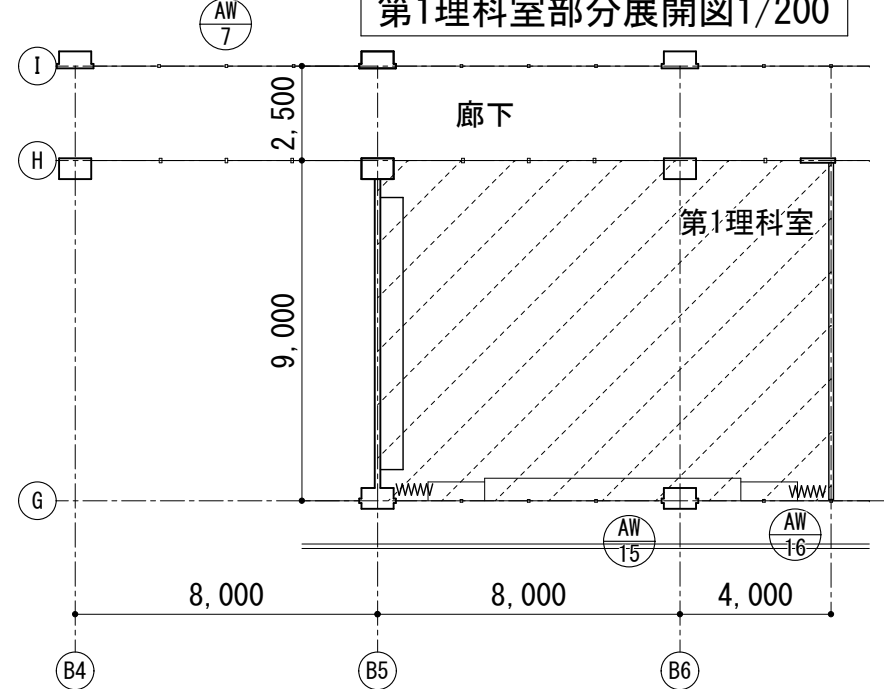
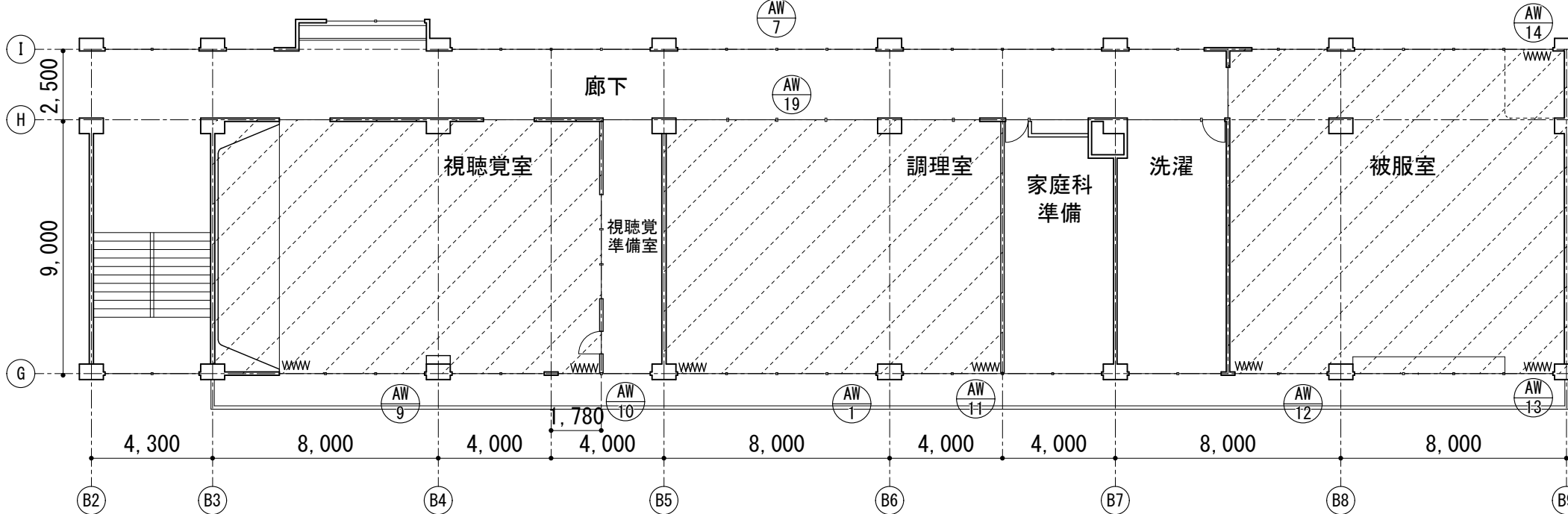
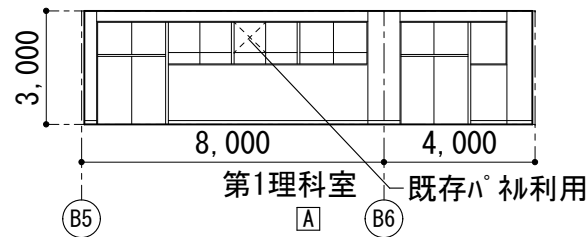
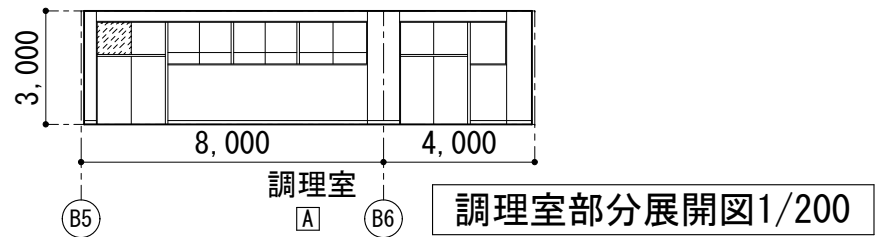
- ☒ 天井点検口450角
- www カーテン及びカーテンレール設置
- ☒ ガラス撤去の上アルミパネル設置

工事対象室

☒ 天井点検口450角

www カーテン及びカーテンレール設置

▨ ガラス撤去の上アルミパネル設置



下り壁仕上材撤去・新設
※新設も有孔ベニヤt5.5SOPとする

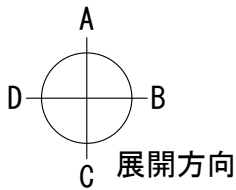
木製見切縁既存のまま

岩綿吸音板(下地石膏ボードt9.5)撤去・新設

視聴覚室下り天井部分断面図 1/100

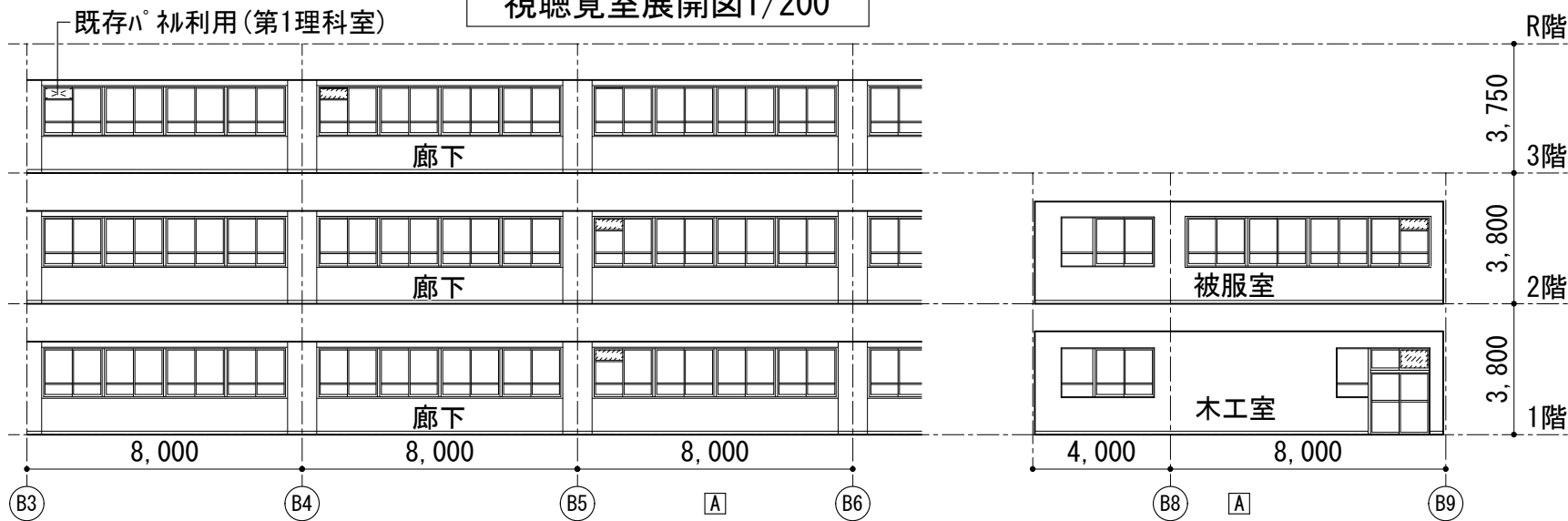
視聴覚室、調理室、被服室、第1理科室仕上表

部位	仕上
壁	仕上塗材
下り壁	有孔ベニヤt5.5SOP※視聴覚室のみ

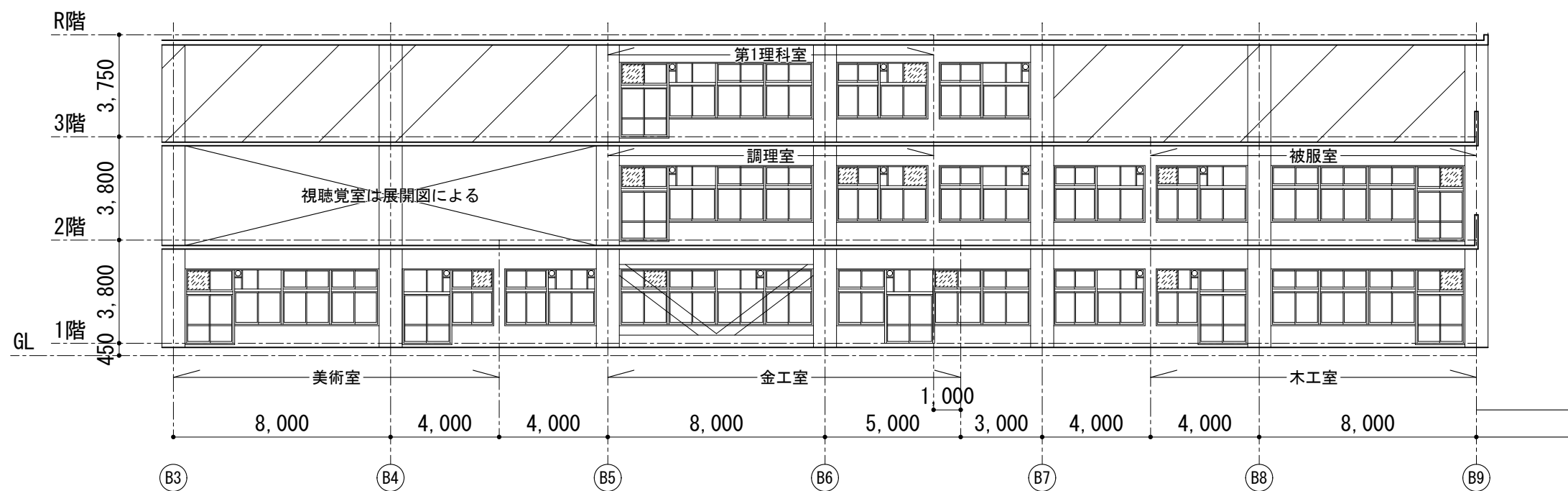


▨ 工事対象室

視聴覚室展開図1/200



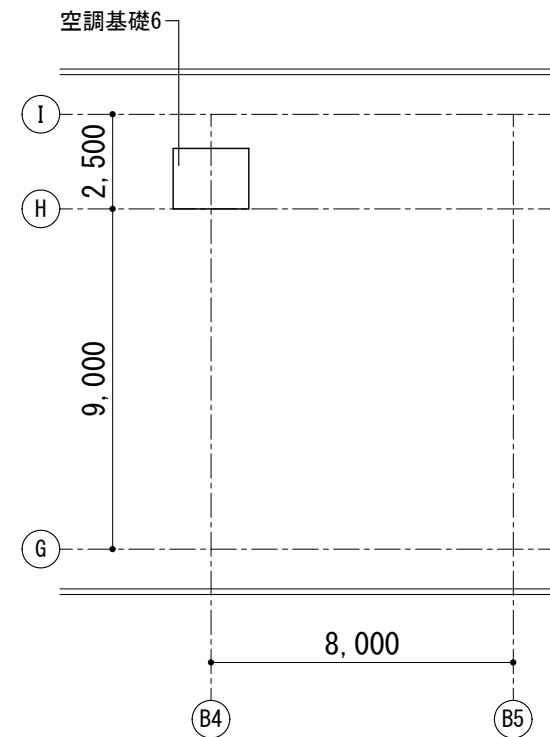
B棟部分展開図1/200



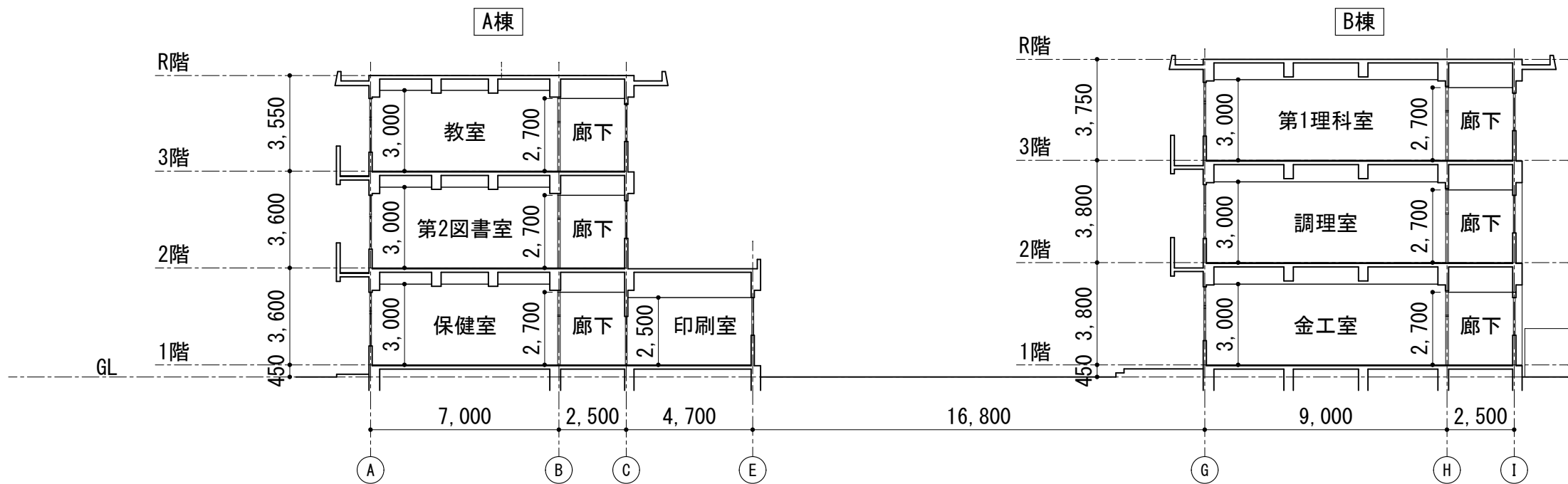
校舎外部仕上表

部位	仕 上
外壁	吹付材
軒天	リシン吹付

B棟部分立面図1/200

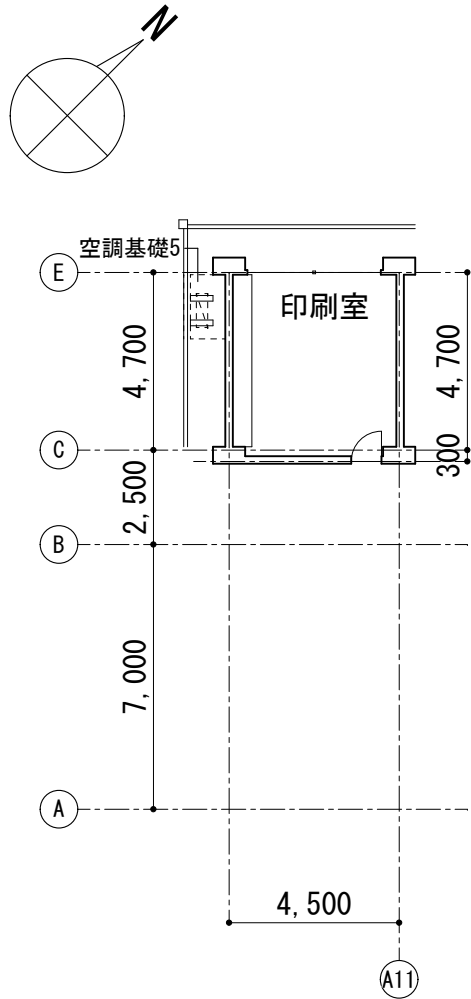


凡例
は石綿含有材料(レベル3)を示す。撤去する場合は適切な撤去処分を施す。

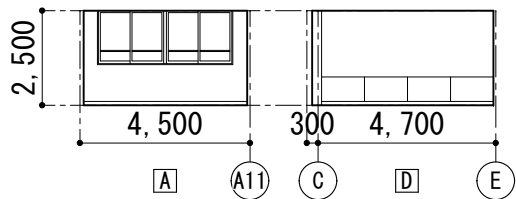


断面図1/200

- 凡例
- 天井点検口450角
 - カーテン及びカーテンレール設置
 - ガラス撤去の上アルミパネル設置



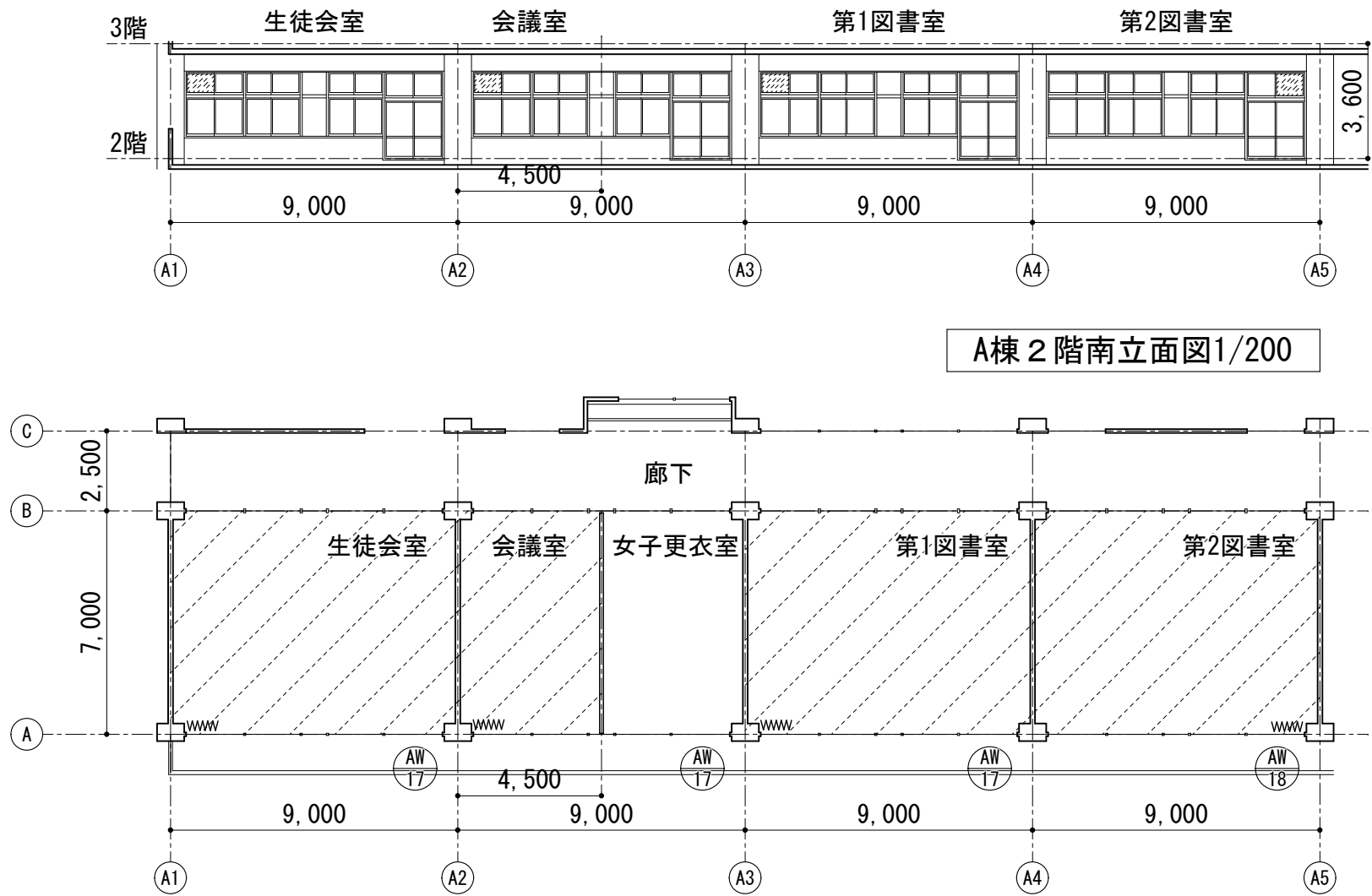
A棟 1階平面図1/200



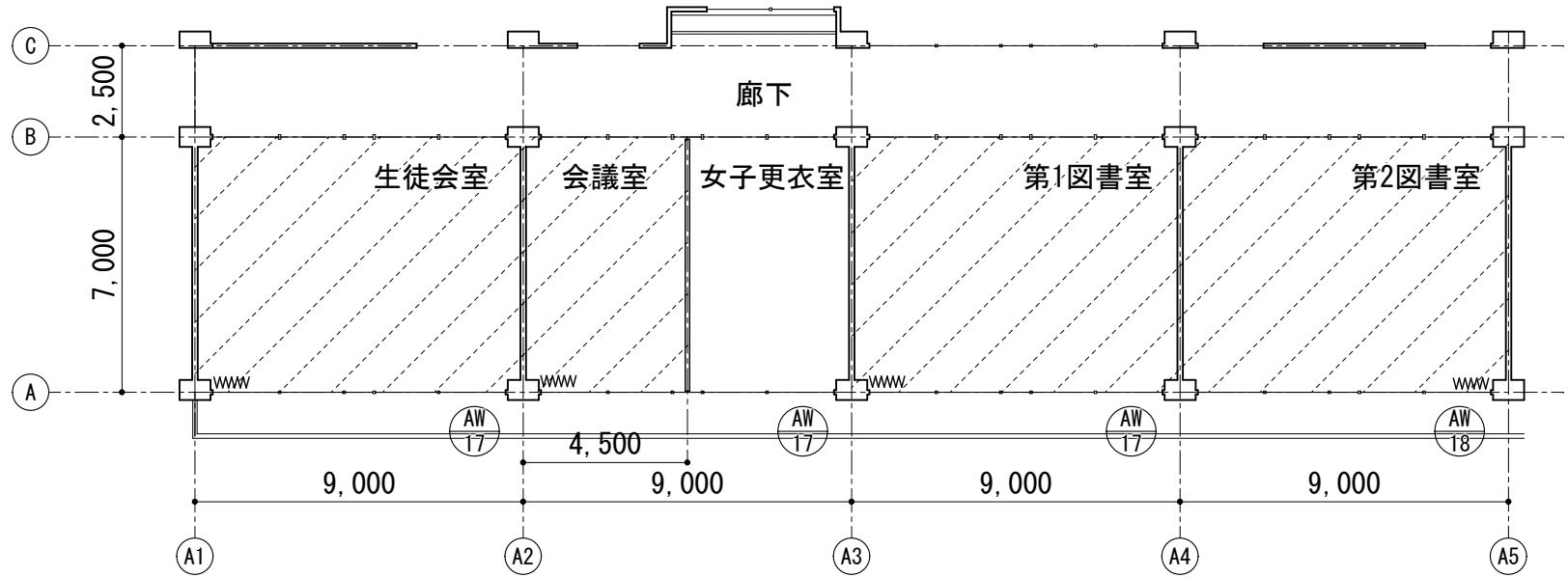
印刷室部分展開図1/200

印刷室 仕上表	
部位	仕 上
壁	仕上塗材
天井	化粧石膏ボード

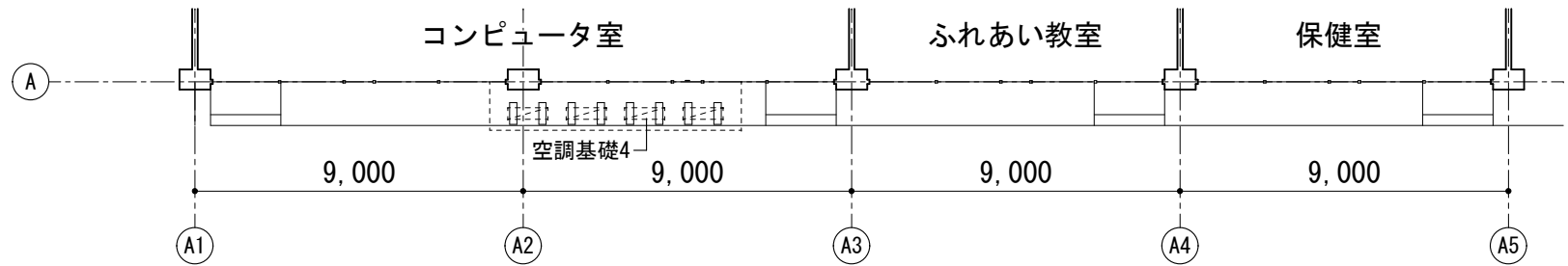
生徒会室、会議室、第1図書室、第2図書室 仕上表	
部位	仕 上
壁	仕上塗材



A棟 2階南立面図1/200



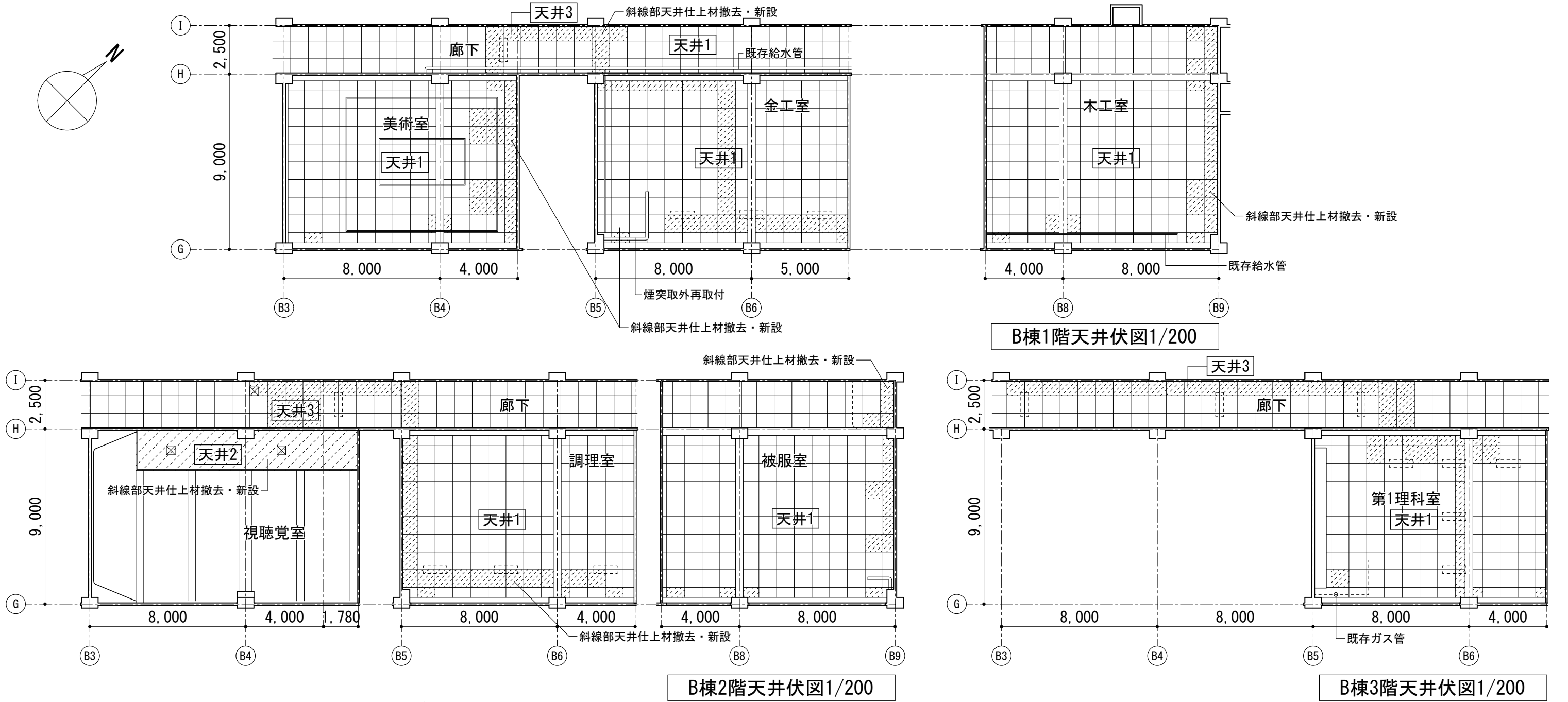
A棟 2階平面図1/200



A棟1階部分平面図1/200

工事対象室

- 凡例
- ☒ 天井点検口450角
 - www カーテン及びカーテンレール設置
 - ☒ ガラス撤去の上アルミパネル設置



- 凡例
- ☒ 天井点検口450角
 - www カーテン及びカーテンレール設置
 - 斜線部 ガラス撤去の上アルミパネル設置

天井仕上表		
	部位	仕 上
撤去	天井1	化粧石膏ボード(下地石膏ボードt9.5)
	天井2	岩綿吸音板(下地石膏ボードt9.5)
	天井3	化粧石膏ボードt9.5
新設	天井1	化粧石膏ボード(下地石膏ボードt9.5)
	天井2	岩綿吸音板(下地石膏ボードt9.5)
	天井3	化粧石膏ボードt9.5

凡例

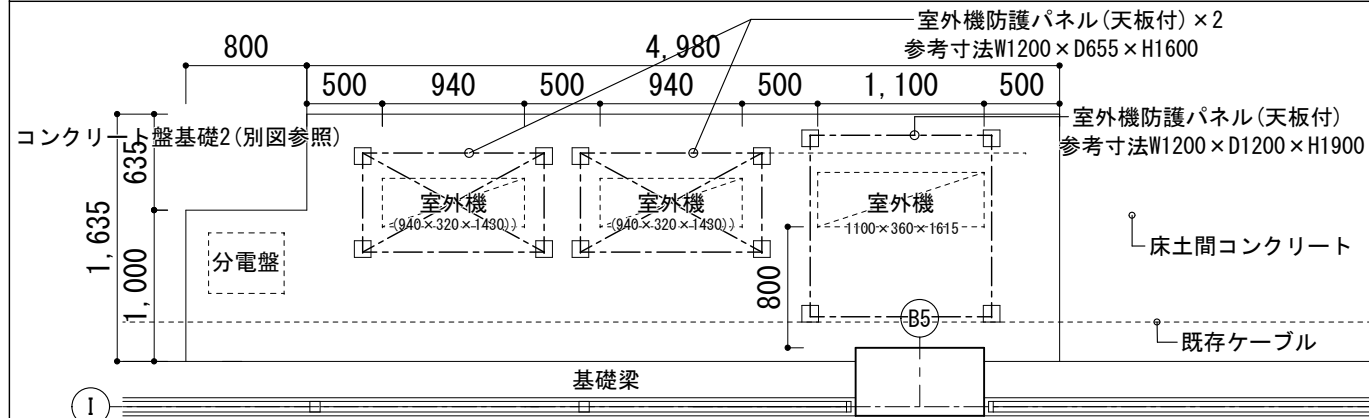
斜線部は石綿含有材料(レベル3)を示す。撤去する場合は適切な撤去処分を施す。

※石綿含有天井仕上材の点検口設置に関しては周囲のボード必要最低限を撤去し、同材にて改修する。

符号	<div>AW1</div> アルミ製建具（一部改修）	2か所	<div>AW2</div> アルミ製建具（一部改修）	1か所	<div>AW3</div> アルミ製建具（一部改修）	1か所	<div>AW4</div> アルミ製建具（一部改修）	1か所	<div>AW5</div> アルミ製建具（一部改修）	1か所
姿図										
材料	アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製	
場所	美術室、調理室		美術室		金工室		金工室		木工室	
ガラス	部分既存ガラス撤去		部分既存ガラス撤去		部分既存ガラス撤去		部分既存ガラス撤去		部分既存ガラス撤去	
金物										
備考	部分アルミパネルt3.0設置		部分アルミパネルt3.0設置		部分アルミパネルt3.0設置		部分アルミパネルt3.0設置		部分アルミパネルt3.0設置	
	----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置		----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置		----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置		----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置		----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置	
	部分カーテン及び遮光カーテン設置		部分カーテン及び遮光カーテン設置		部分カーテン及び遮光カーテン設置		部分カーテン及び遮光カーテン設置		部分カーテン及び遮光カーテン設置	
符号	<div>AW6</div> アルミ製建具（一部改修）	1か所	<div>AW7</div> アルミ製建具（一部改修）	3か所	<div>AW8</div> アルミ製建具（一部改修）	1か所	<div>AW9</div> アルミ製建具（一部改修）	1か所	<div>AW10</div> アルミ製建具（一部改修）	1か所
姿図										
材料	アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製	
場所	木工室		1、2、3階廊下		木工室		視聴覚室		視聴覚室	
ガラス	部分既存ガラス撤去		部分既存ガラス撤去		部分既存ガラス撤去		部分既存ガラス撤去		部分既存ガラス撤去	
金物										
備考	部分アルミパネルt3.0設置		部分アルミパネルt3.0設置		部分アルミパネルt3.0設置		部分アルミパネルt3.0設置		部分アルミパネルt3.0設置	
	----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置		----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置		----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置		----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置		----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置	
	部分カーテン及び遮光カーテン設置		部分カーテン及び遮光カーテン設置		部分カーテン及び遮光カーテン設置		部分カーテン及び遮光カーテン設置		部分カーテン及び遮光カーテン設置	

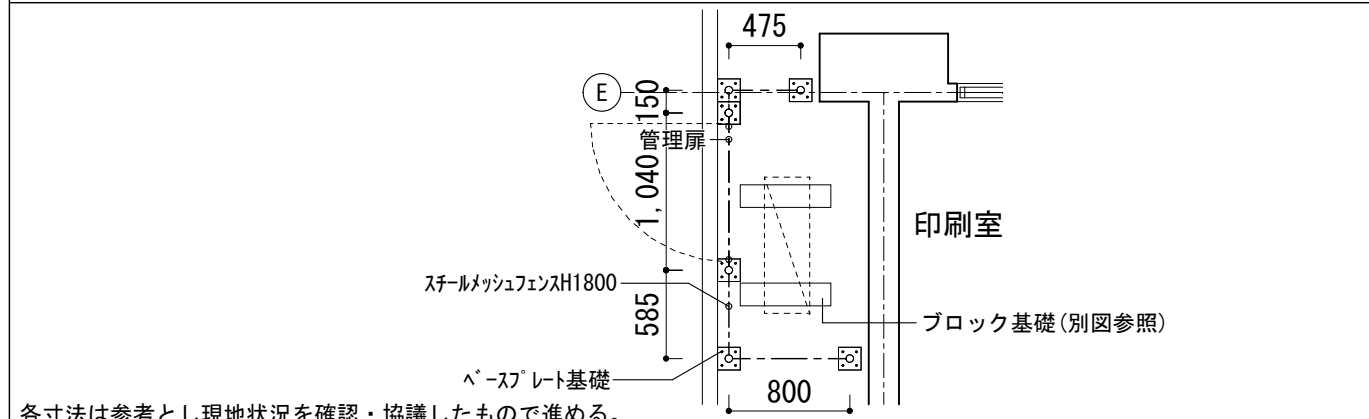
符号	<div>AW11</div> アルミ製建具（一部改修）	1か所	<div>AW12</div> アルミ製建具（一部改修）	1か所	<div>AW13</div> アルミ製建具（一部改修）	1か所	<div>AW14</div> アルミ製建具（一部改修）	1か所	<div>AW15</div> アルミ製建具（一部改修）	2か所
姿図										
材料	アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製	
場所	調理室		被服室		被服室		被服室		第1理科室	
ガラス	部分既存ガラス撤去		部分既存ガラス撤去		部分既存ガラス撤去		部分既存ガラス撤去		部分既存ガラス撤去	
金物										
備考	部分アルミパネルt3.0設置		部分アルミパネルt3.0設置		部分アルミパネルt3.0設置		部分アルミパネルt3.0設置		部分アルミパネルt3.0設置	
	----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置		----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置		----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置		----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置		----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置	
	部分カーテン及び遮光カーテン設置		部分カーテン及び遮光カーテン設置		部分カーテン及び遮光カーテン設置		部分カーテン及び遮光カーテン設置		部分カーテン及び遮光カーテン設置	
符号	<div>AW16</div> アルミ製建具（一部改修）	1か所	<div>AW17</div> アルミ製建具（一部改修）	3か所	<div>AW18</div> アルミ製建具（一部改修）	1か所	<div>AW19</div> アルミ製建具（一部改修）	2か所		
姿図										
材料	アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製（学校間仕切）			
場所	第1理科室		生徒会室、会議室、第1図書室		第2図書室		金工室、調理室			
ガラス	部分既存ガラス撤去		部分既存ガラス撤去		部分既存ガラス撤去		部分既存ガラス撤去			
金物										
備考	部分アルミパネルt3.0設置		部分アルミパネルt3.0設置		部分アルミパネルt3.0設置		部分アルミパネルt3.0設置			
	----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置		----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置		----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置		----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置			
	部分カーテン及び遮光カーテン設置		部分カーテン及び遮光カーテン設置		部分カーテン及び遮光カーテン設置		部分カーテン及び遮光カーテン設置			

空調基礎1部分詳細図1/50



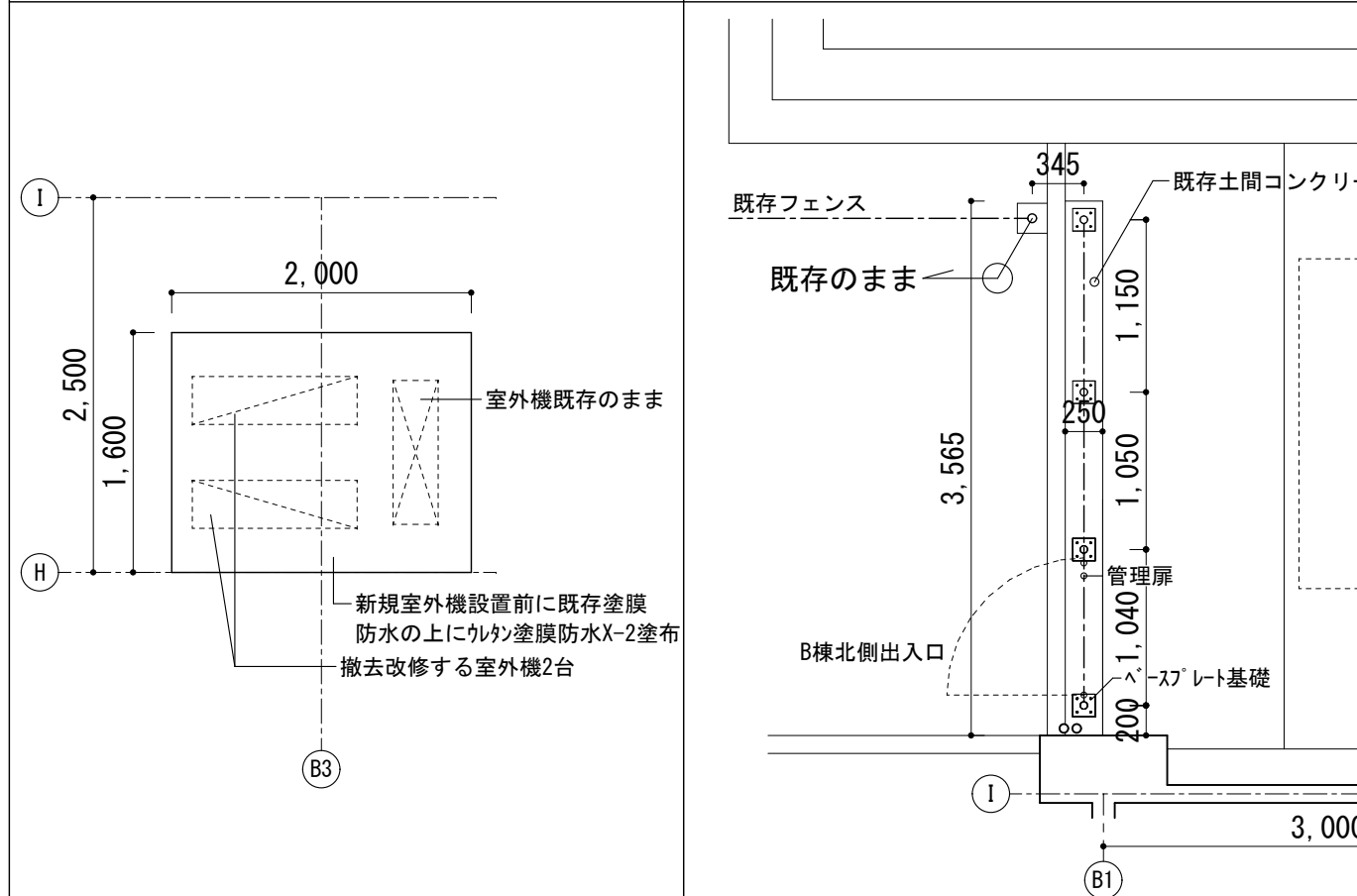
各寸法は参考とし現地状況を確認・協議したもので進める。

空調基礎5部分詳細図1/50



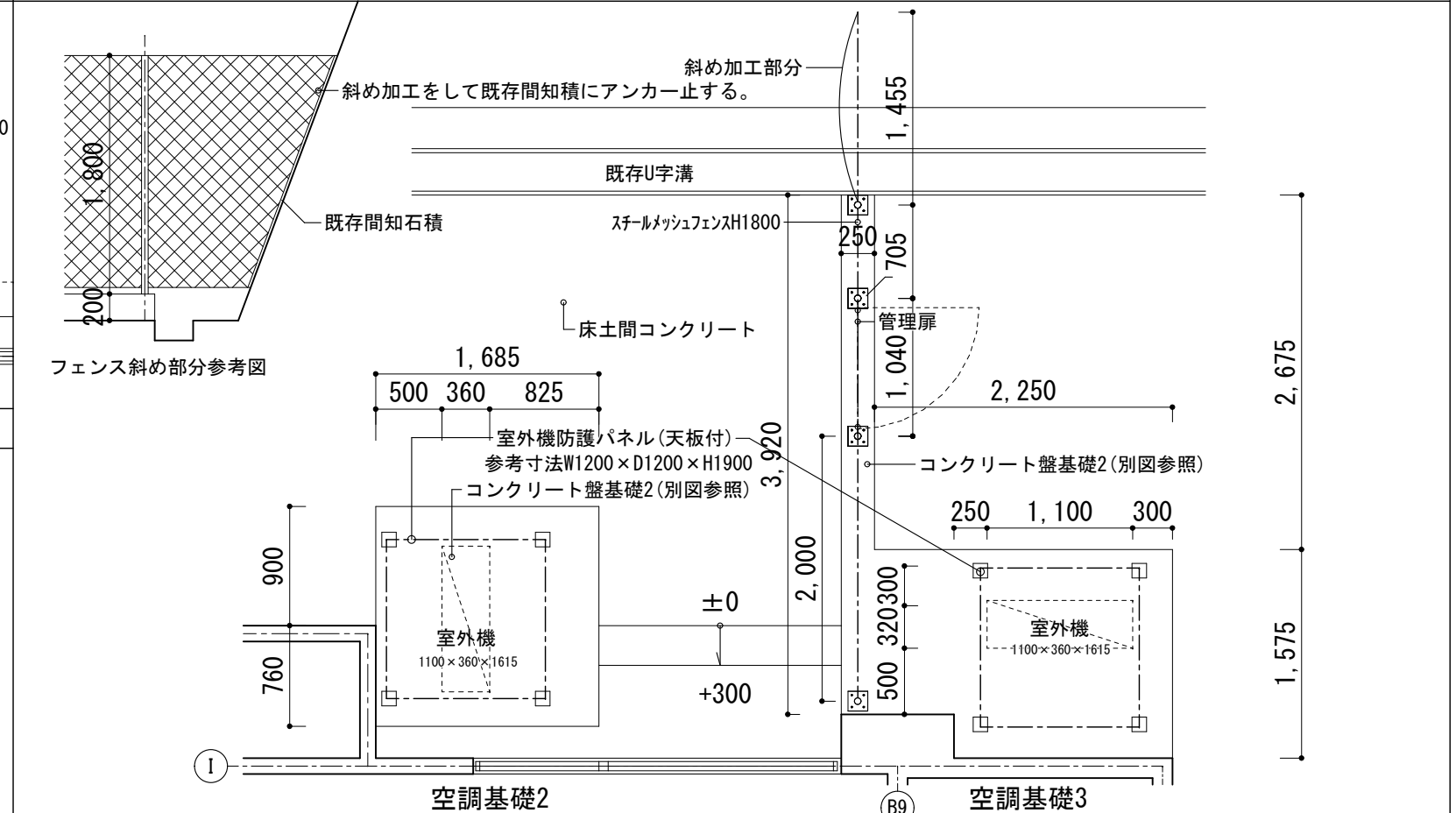
各寸法は参考とし現地状況を確認・協議したもので進める。

空調基礎6部分詳細図1/50

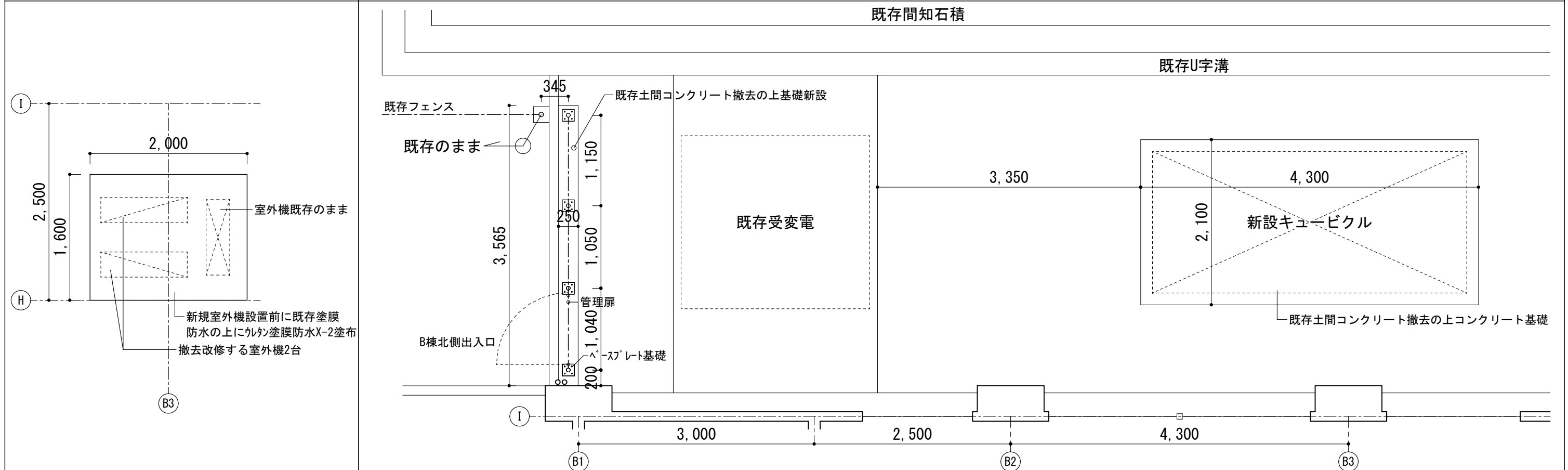


各寸法は参考とし現地状況を確認・協議したもので進める。

空調基礎2、3部分詳細図1/50

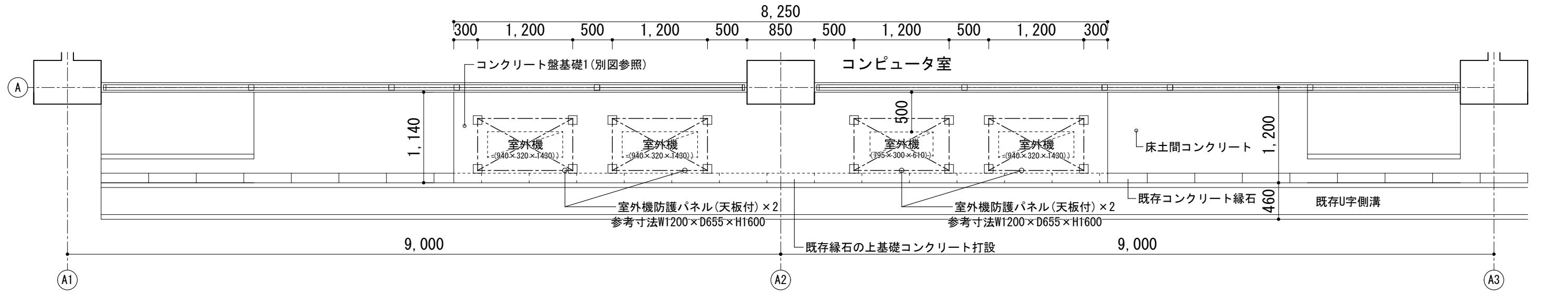


空調基礎6部分詳細図1/50	キュービクル部分詳細図1/50
----------------	-----------------

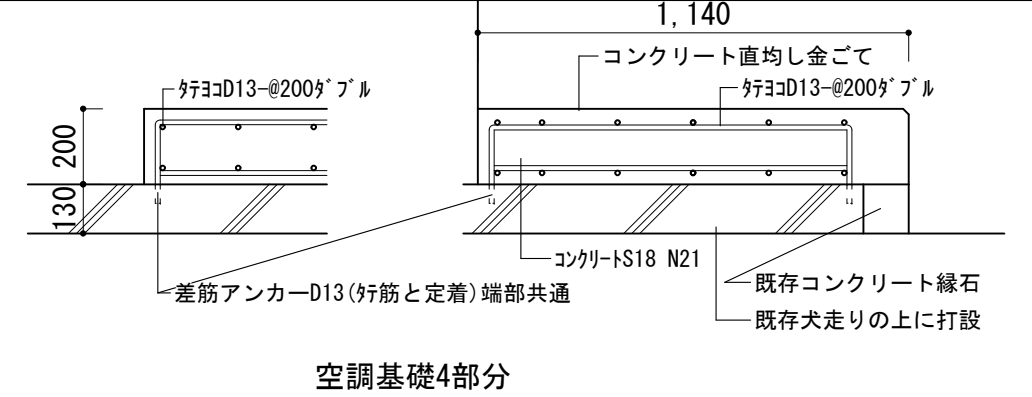


各寸法は参考とし現地状況を確認・協議したもので進める。

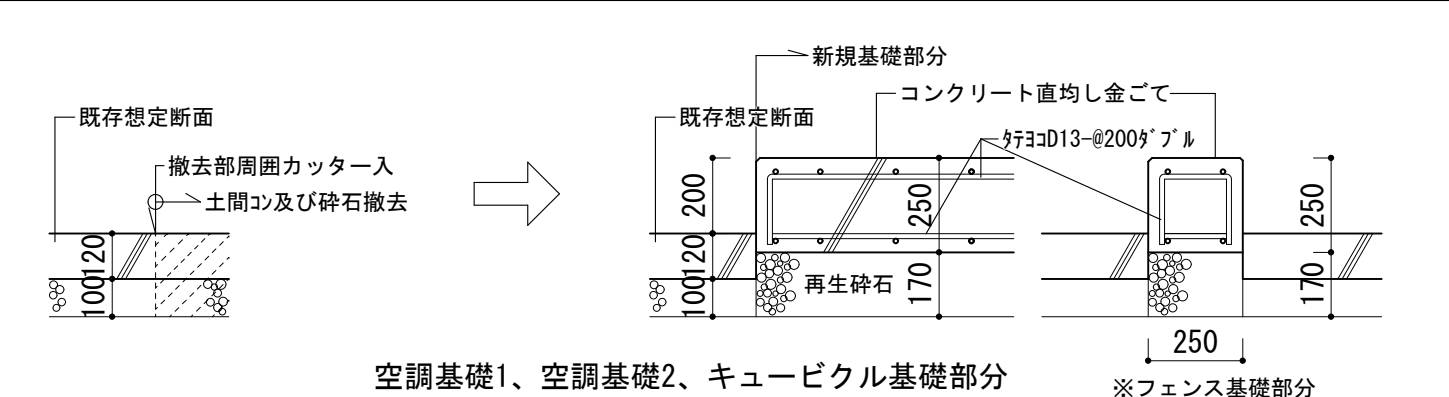
空調基礎4部分詳細図1/50



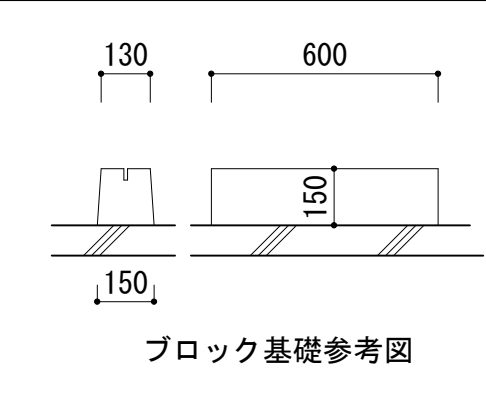
コンクリート盤基礎1詳細図1/20



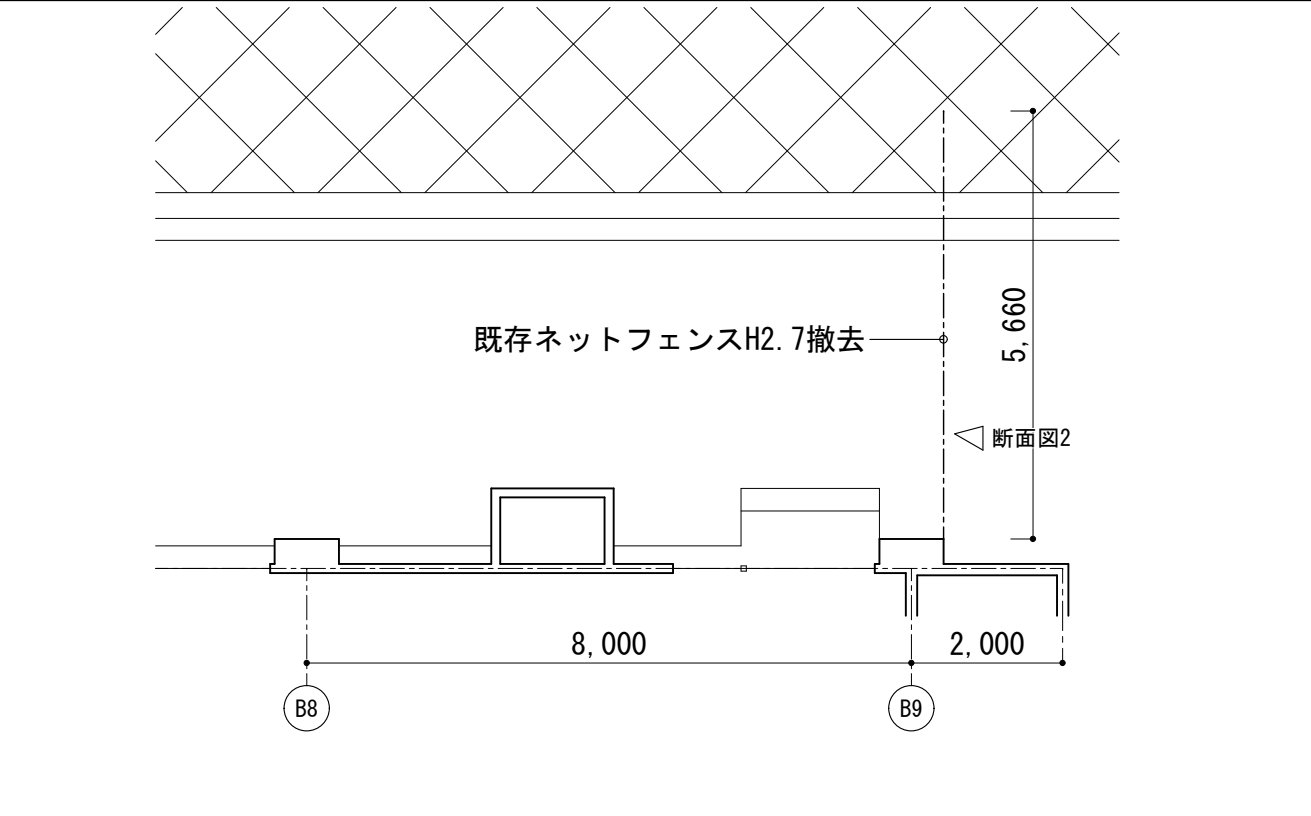
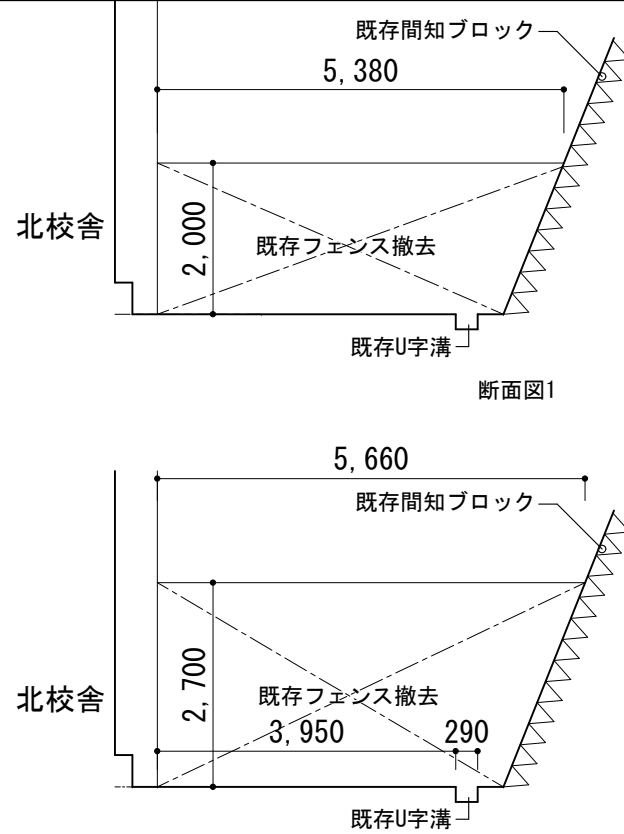
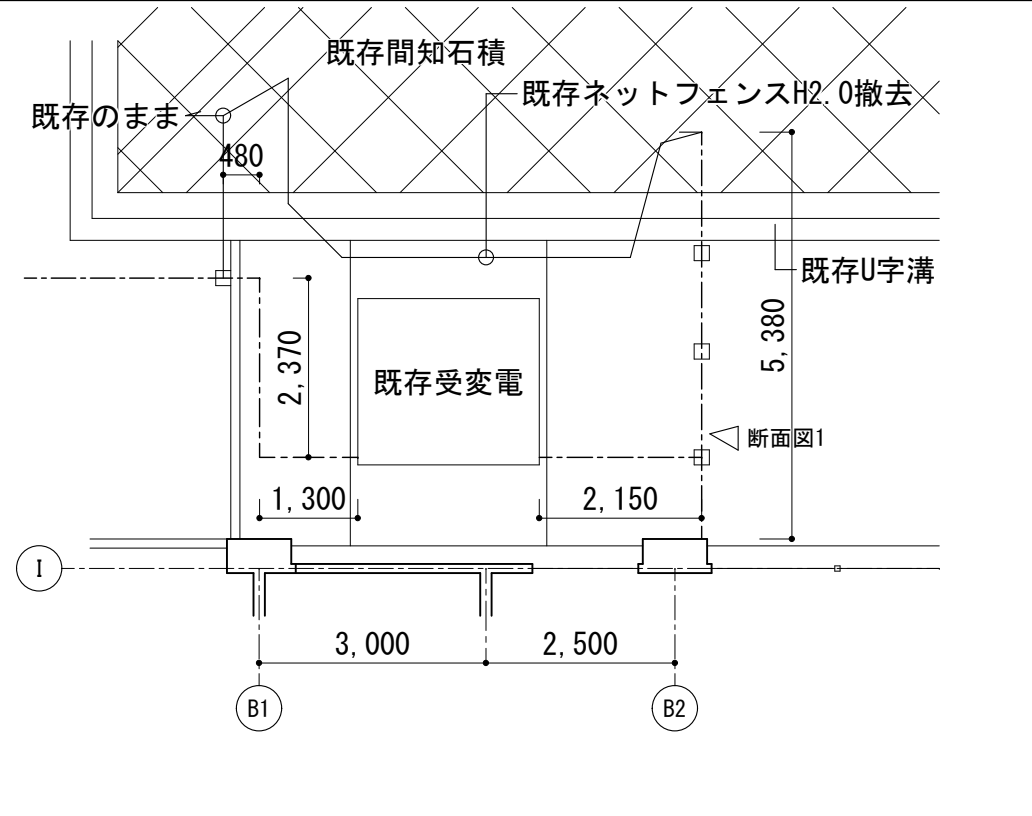
コンクリート盤基礎2詳細図1/20



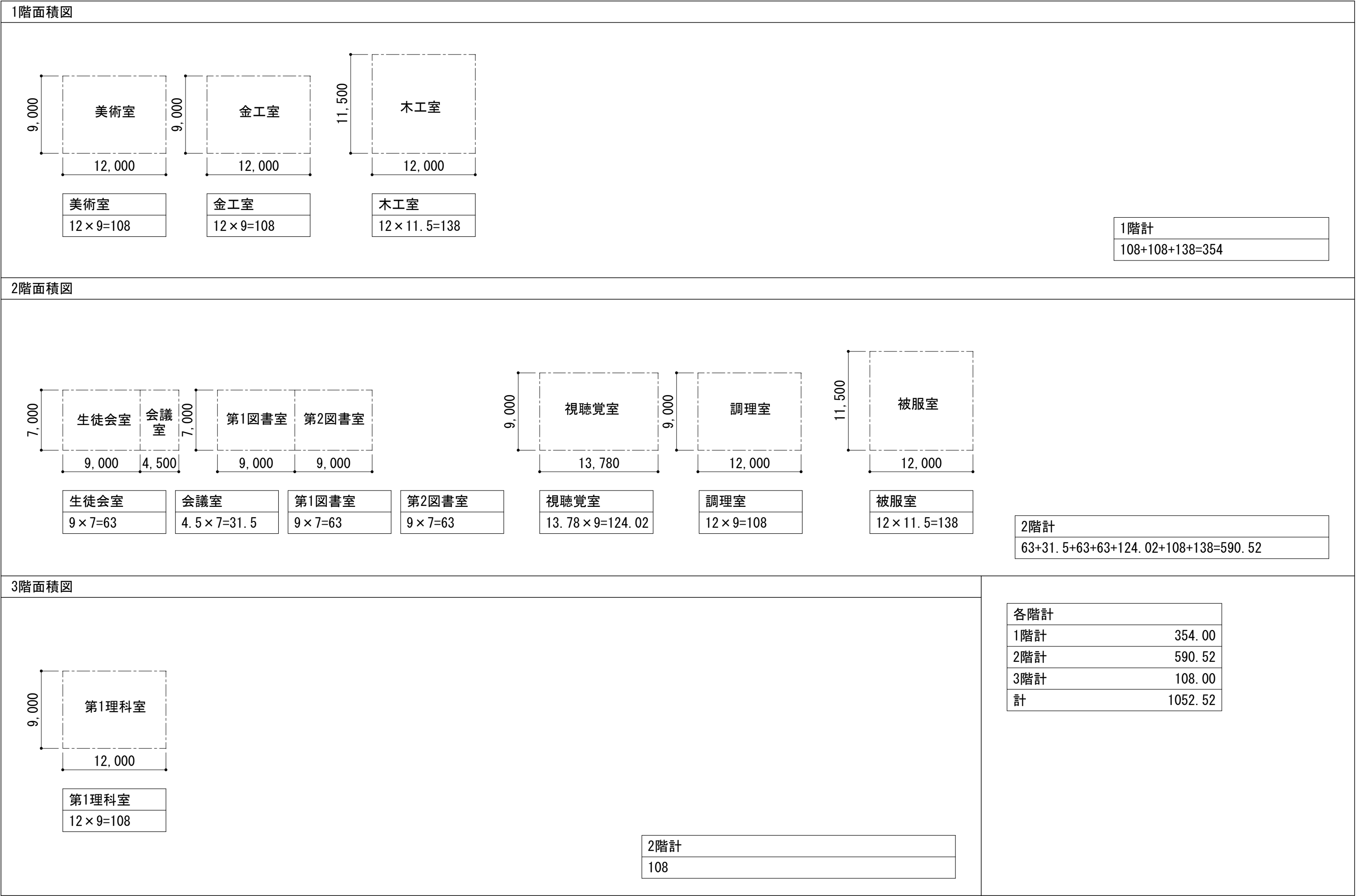
ブロック基礎詳細図1/20



B棟北側部分図(撤去図)1/100



各寸法は参考とし現地状況を確認・協議したもので進める。



工 事 名 称	国府中学校特別教室等空調設備整備工事		特記仕様書 (令和 8年 1月作成)		● 受 変 電 設 備	1 電 気 方 式 2 主 遮 断 装 置 3 設 備 容 量 4 設 置 場 所 5 変電設備の形式 6 変圧器類の形式 7 高 効 率 変 圧 器 8 自 動 力 率 調 整 装 置 9 そ の 他	● 自 動 火 災 報 知 設 備 等	1 電 気 方 式 2 副 表 示 盤 等 3 機 器 収 納 箱 4 非 常 警 報 装 置 5 自 動 閉 鎖 装 置 6 端 子 盤 7 消 防 立 会 検 査 8 そ の 他	● P 形 1 級 (○自立形 ●壁掛形)	<table border="1"> <tr> <th></th><th>容 量</th><th>実 装</th><th>形 式</th></tr> <tr> <td>自 火 報</td><td>回 線</td><td>回 線</td><td>○単独 ○複合</td></tr> <tr> <td>連 動 制 御</td><td>回 線</td><td>回 線</td><td>○単独 ○複合</td></tr> <tr> <td>ガ ス 漏 れ</td><td>回 線</td><td>回 線</td><td>○単独 ○複合</td></tr> <tr> <td>表 示</td><td>回 線</td><td>回 線</td><td>○単独 ○複合</td></tr> </table>		容 量	実 装	形 式	自 火 報	回 線	回 線	○単独 ○複合	連 動 制 御	回 線	回 線	○単独 ○複合	ガ ス 漏 れ	回 線	回 線	○単独 ○複合	表 示	回 線	回 線	○単独 ○複合
	容 量	実 装	形 式																											
自 火 報	回 線	回 線	○単独 ○複合																											
連 動 制 御	回 線	回 線	○単独 ○複合																											
ガ ス 漏 れ	回 線	回 線	○単独 ○複合																											
表 示	回 線	回 線	○単独 ○複合																											
I 工 事 概 要 1 工 事 場 所 中郡大磯町京40番1号					3 工 事 種 目 1)屋内電気設備 ●受変電設備 ○発電設備 ○静止電源設備 ●動力設備 ●電灯設備 ○構内交換設備 ○時計・拉声設備 ●自動火災報知設備 ○雷保護設備 ○誘導支援設備 ○呼出設備 ○テレビ共同受信設備 ○監視カメラ設備 ○中央監視制御設備 ○ ○ ○ 2)屋外電気設備 ○屋外配電線路設備○屋外通信線路設備○発電設備工事 ●接地			○形 アドレス (○自火報 ○連動制御 ○ガス漏れ ○表示) (○自立形 ●壁掛形) ○副受信機 回線 (○単独 ○複合) ○ディスプレイ ○ ○標準色仕上 ○指定色仕上 ○自動火災報知設備と兼用 ○単独 ○ラッチ式 ○アーム式 ○「公共建築設備工事標準図」の形式及び標準寸法は原則を示し、別工事との取り合い、盤内配線の状況等により変更する場合は、監督職員と協議する。 ○行う ○行わない ○幹線の分岐、接続は端子盤又は機器収納箱内の端子板で行う。 ○警報ベルの直径は1 5 0 mmとする。																						
II 工 事 仕 様 1 共通仕様	1) 現場説明書、図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、次の仕様書を適用する。 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版） 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（最新版） 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版） 2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。				○ 燃 焼 エ ネ ル ギ ー 系 発 電 装 置	1 装 置 の 種 類 2 認 定 3 内 発 協 の 基 準 による区分 4 配 電 盤 5 防 音 仕 様 6 連 続 運 転 時 間 7 原 動 機 出 力 8 冷 却 方 式 9 燃 料 10 貯 油 槽 11 発 電 機 12 積 算 流 量 計	○ 中 央 監 視 制 御 設 備	1 監 視 制 御 対 象 2 受 変 電 設 備 3 電 灯 設 備 4 雷 電 誘 導 線 5 接 地 極 6 試 験 用 接 続 端 子 箱	○ 防 災 設 備 ○ 防 犯 設 備	○受変電設備 ○自家発電設備 ○防災設備 ○防犯設備 ○電灯設備 ○空調設備 ○衛生設備 ○ ○																				
	2 特記仕様 次の表のとおりとし、章は●印の付いたもの、特記事項は●印の付いたものを適用する。					1 シ ス テ ム 構 成 2 公 称 出 力 kW 3 モ ジ ュ ー ル 4 コ ン テ ン ナー 5 表 示 パ ネ ル 6 計 測 装 置				○系統連携型（逆潮流有り） ○系統連携型（逆潮流なし） ○系統連携しない ○自立運転機能付き（蓄電池 Ah） ○単結晶型 ○多結晶型 ○アモルファス ○その他（ ） 出力電気方式 相 線式 V ○なし ○あり（○壁掛け ○自立 ○LED ○液晶 ○ ） ○なし ○あり（○日射計 ○気温計 ○ ）																				
● 一 般	1 機 材 2 監督員事務所 3 工事用電力、給水、その他 4 官 庁 手 続 き 5 本設電気の基本料金 6 施 工 調 査 7 工事用仮設物等 8 足場、さん橋類		●本工事に使用する機材は、設計図書で規定されている仕様を満足し、環境負荷を配慮したものとする。 ○別途工事にて設ける ○設けない ○本工事に要する工事用電力、給水等の費用は、完成引き渡しまで基本料金を含め請負者の負担とする。 ●官公署等への諸手続き、各種検査などの費用は請負者の負担とする。 工事完成引き渡しまでの工事に係る本設電気の基本料金は本工事に含まれていない ○含まれている ○改修工事の場合は、施工箇所の調査を行うものとし、その方法・範囲は改修工事標準仕様書によるほか、別途指示する。 構内に設けることが ○できる ○できない ●別契約の関係請負者が定置したものは、無償で使用できる。 ○本工事で設置する。 ○改修標準仕様書第1編2.1.2によるほか下記による。 ○内部仮設足場等 (○ 種 ○ 種) ○外部仮設足場等 (○ 種 ○ 種)		● 動 力 設 備	1 電 気 方 式 2 電 動 機 の 接 地 3 低 圧 コ ン デ ン サ ー 4 分 電 盤 等	● 電 灯 設 備	1 避 雷 設 備 2 受 雷 部 3 避 雷 導 線 4 接 地 極 5 試 験 用 接 続 端 子 箱	● 屋 外 配 電 線 路 設 備	●JIS A4201-1992(旧JIS) ○JIS A4201-2003(新JIS) ○突針 ○棟上専体 ○金属製手摺（別途工事）等 ○引下導線 ○建築構造体利用 ○接地極埋設 ○建築構造体利用 ○合成樹脂製 ○黄銅製 ○接地抵抗測定用補助接地極2ヶ所																				
	9 発 生 材 の 処 理 10 再 資 源 の 利 用 11 残 土 処 分 12 工 事 写 真 13 引 き 渡 し 関 係 書 類 及び付属品 14 提 出 書 類 の 様 式 15 耐 震 処 理		引き渡しを要するもの ○あり ○なし 特別管理産業廃棄物 ○あり ○なし 再資源化を図るもの ○あり ○なし 再資源の利用を行うもの ○あり ○なし ○構内敷きならし ○指定処分地へ搬入 ●別途指示する。 ●別途指示する。 ●別途指示する。			1 電 気 方 式 2 ケーブル配線用ボックス 3 4 0 W の 蛍 光 灯 器 具 4 非 常 灯 器 具 5 配 線 器 具 6 誘 導 灯 吊 り 金 具 7 分 電 盤 等 8 端 子 盤 9 そ の 他 付 加 設 備		1 引 込 2 電 灯 電 力 幹 線 3 外 灯 4 外 灯 の 点 滅 方 式		引込点まで 相 線式 V ○地中線 ○架空線 引 込 点 ○電柱 (m Kg) ○キャビネット ○屋側 ○PAS (方向性) ○UGS (方向性) ○PASはPT、LA内蔵型 (○SUS製、重耐塩) とする。 ○架空線 (○ケーブル ○電線) ○地中線 ●高圧ケーブルは、EM-CET (E-E) とする。 高圧ケーブル端末処理 ○重耐塩碼子挿入式 (屋外型) ○モールド形 ○ケーブル端末から第1ハンドホールまでの保護管はステンレス製とする。 ○架空線 ○地中線 ○3相 線式 V ○単相 線式 V ○3相 線式 V ○単相 線式 V																				
共 通	●設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2 0 1 4 年版」 (国土交通省国土技術政策総合 研究所・独立行政法人建築研究所監修) による。 なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。 ●地域係数 (Z) は1、設計用標準震度 (K s) は下表とする。				○ 構 内 交 換 設 備	1 自 営 等 の 区 別 2 種 3 C P U 4 回 線 数 5 局 線 中 継 台 6 停 電 補 償 時 間 7 電 話 機 へ の 配 線 8 端 子 盤 9 そ の 他 付 加 設 備	● 埋 設 配 管	1 電 話 引 込 2 弱 電 幹 線	○ 屋 外 通 信 設 備	第1種電気通信事業者側 ○地中線 ○架空線 引 込 点 以 降 ○地中線 ○架空線 ○架空線 ○地中線																				
	●設計用垂直地震力は、設計用水平地震力に1／2を乗じたものとする。 ○本工事にて行う (箇所) ○別途工事にて行う																													

Technical drawing of a four-door locker unit. The overall width is 4,000 and the height is 2,300. The unit is divided into four equal compartments, each with a door. The dimensions for the compartments are: 900 (width of the first compartment), 800 (width of the second compartment), 1300 (width of the third compartment), and 1000 (width of the fourth compartment). Each door has a handle and a lock. The unit is shown in a perspective view.

正面图

新設屋外キュービクル式変電設備

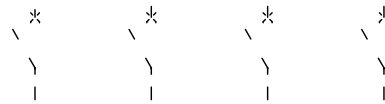


工事概要			
既設 1 次変電設備を 2 次変電設備に改修する。			
1 次変電設備を新設する。			
屋外キュービクル変電設備 動力変圧器300kVA・SR・SC等を新設する。			
変電設備新設に伴い高圧ケーブル・接地線の撤去新設を行う。			
空調用配線用遮断器の新設を行う。			
高圧空中開閉器 P A S の更新を行う。			
総合試験一式を行う。			
凡例			
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="width: 100px; border-bottom: 2px solid black; margin-right: 10px;"></div> <div>改修対象機器類を示す。</div> </div>			
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="width: 100px; border-bottom: 1px dashed black; margin-right: 10px;"></div> <div>既設 対象外機器類を示す。</div> </div>			
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="width: 100px; border-bottom: 1px dashed black; margin-right: 10px; text-align: center;"> — × — × </div> <div>×印は撤去を示す。</div> </div>			
<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div>1. 耐震仕様は特記仕様書による</div> <div>2. 「高圧危険」等の表示板の取付をおこなう。</div> <div>3. 総容量 575kVA 東京電力 契約電力 333kW 消防設備 申請設備容量 431kW</div> <div>4. 10形消火器（ステンレス箱入り）の設置を行う。</div> </div>			

受変電設備



3φ200V



N0	P1	P2	P3	
開閉器	MCCB 3P 225/125AT	MCCB 3P 225/200AT	MCCB 3P 225/125AT	
記号	P-1	P-2	P-3	
名称	空調盤	空調盤	空調盤	
消費電力 (冷房) kW	22.0	34.1	15.80	
消費電力 (暖房) kW	16.4	31.6	14.33	
ケーブル 接地線	EM-CET38° E8° × 2	EM-CET100° E14° × 2	EM-CET60° E8° × 2	
配管	(FEP50) (G54) (F2WP63)	(FEP65) (G70) (F2WP76)	(FEP50) (G54) (F2WP63)	
摘要	計 71.85 kW 62.38 kW			

P-1

3φ3W200V
TB

N0	開 閉 器	記号	名称	消費電力 (冷房) kW	消費電力 (暖房) kW	ケーブル	接地線	露出配管	接続材	参考品番	摘要
P11	ELCB 3P60/60AT	EHP-1	B棟木工室 空調機	11.0	8.21	EM-CET14°	E5.5°	(G36)	(F2WP38)	RXTA335A	
P12	ELCB 3P60/60AT	EHP-3	B棟被服室 空調機	11.0	8.21	EM-CET14°	E5.5°	(G36)	(F2WP38)	RXTA335A	
(11)	ELCB 2P50/20AT	EHP-1	B棟木工室 室内機	0.47	0.47	EM-EEF2.0-3C		(G22)	(F2WP24)		
(12)	ELCB 2P50/20AT	EHP-3	B棟被服室 室内機	0.48	0.48	EM-EEF2.0-3C		(G22)	(F2WP24)		

P-2

自立型

3φ3W200V
TB

N0	開 閉 器	記号	名称	消費電力 (冷房) kW	消費電力 (暖房) kW	ケーブル	接地線	露出配管	接続材	参考品番	摘要
P21	ELCB 3P50/50AT	EHP-2	B棟調理室 空調機	7.67	7.18	EM-CET14°	E5.5°	(G36)	(F2WP38)	RXTA280A	
P22	ELCB 3P50/40AT	PAC-1	B棟美術室 空調機	6.6	6.05	EM-CE8° -3C	E5.5°	(G28)	(F2WP30)	SSRH224C(N)D	
P23	ELCB 3P50/40AT	PAC-2	B棟金工室 空調機	6.6	6.05	EM-CE8° -3C	E5.5°	(G28)	(F2WP30)	SSRH224C(N)D	
P24	ELCB 3P50/40AT	PAC-3	B棟視聴覚室 空調機	6.58	6.3	EM-CE8° -3C	E5.5°	(G28)	(F2WP30)	SSRB224CD	屋上
P25	ELCB 3P50/40AT	PAC-8	B棟第1理科室 空調機	6.6	6.05	EM-CE8° -3C	E5.5°	(G28)	(F2WP30)	SSRH224C(N)D	屋上
(21)	ELCB 2P50/20AT	EHP-2	B棟調理室 室内機	0.47	0.47	EM-EEF2.0-3C		(G22)	(F2WP24)		

P-3

自立型

3φ3W200V
TB

N0	開 閉 器	記号	名称	消費電力 (冷房) kW	消費電力 (暖房) kW	ケーブル	接地線	露出配管	接続材	参考品番	摘要
P31	ELCB 3P50/30AT	PAC-4	A棟生徒会室 空調機	4.2	3.71	EM-CE5.5° -4C		(G28)	(F2WP30)	SSRH140C(N)	
P32	ELCB 3P50/15AT	PAC-5	A棟会議室 空調機	1.62	1.6	EM-CE3.5° -4C		(G28)	(F2WP30)	SSRH63C(N)T	
P33	ELCB 3P50/30AT	PAC-6	A棟第1図書室 空調機	4.2	3.71	EM-CE5.5° -4C		(G28)	(F2WP30)	SSRH140C(N)	
P34	ELCB 3P50/30AT	PAC-7	A棟第2図書室 空調機	4.2	3.71	EM-CE5.5° -4C		(G28)	(F2WP30)	SSRH140C(N)	

P-4

3φ3W200V
TB

N0	開 閉 器	記号	名称	消費電力 (冷房) kW	消費電力 (暖房) kW	ケーブル	接地線	露出配管	接続材	参考品番	摘要
P35	ELCB 3P50/15AT	PAC-9	印刷室 空調機	1.58	1.6	EM-CE3.5° -4C		(G28)	(F2WP30)	SSRA63C(N)T	

注記（各盤共通）

1. 図中記号は、下記による。



回路盤号 AC-3φ2W-200Vを示す。



回路盤号 AC-3φ3W-200Vを示す。

2. 特記なき分電盤は、屋外防水形壁掛ステンレス製とする。

3. 分電盤の塗装は、指定色とする。

4. 凡例

→× 配線用ブレーカー

→× 漏電ブレーカー

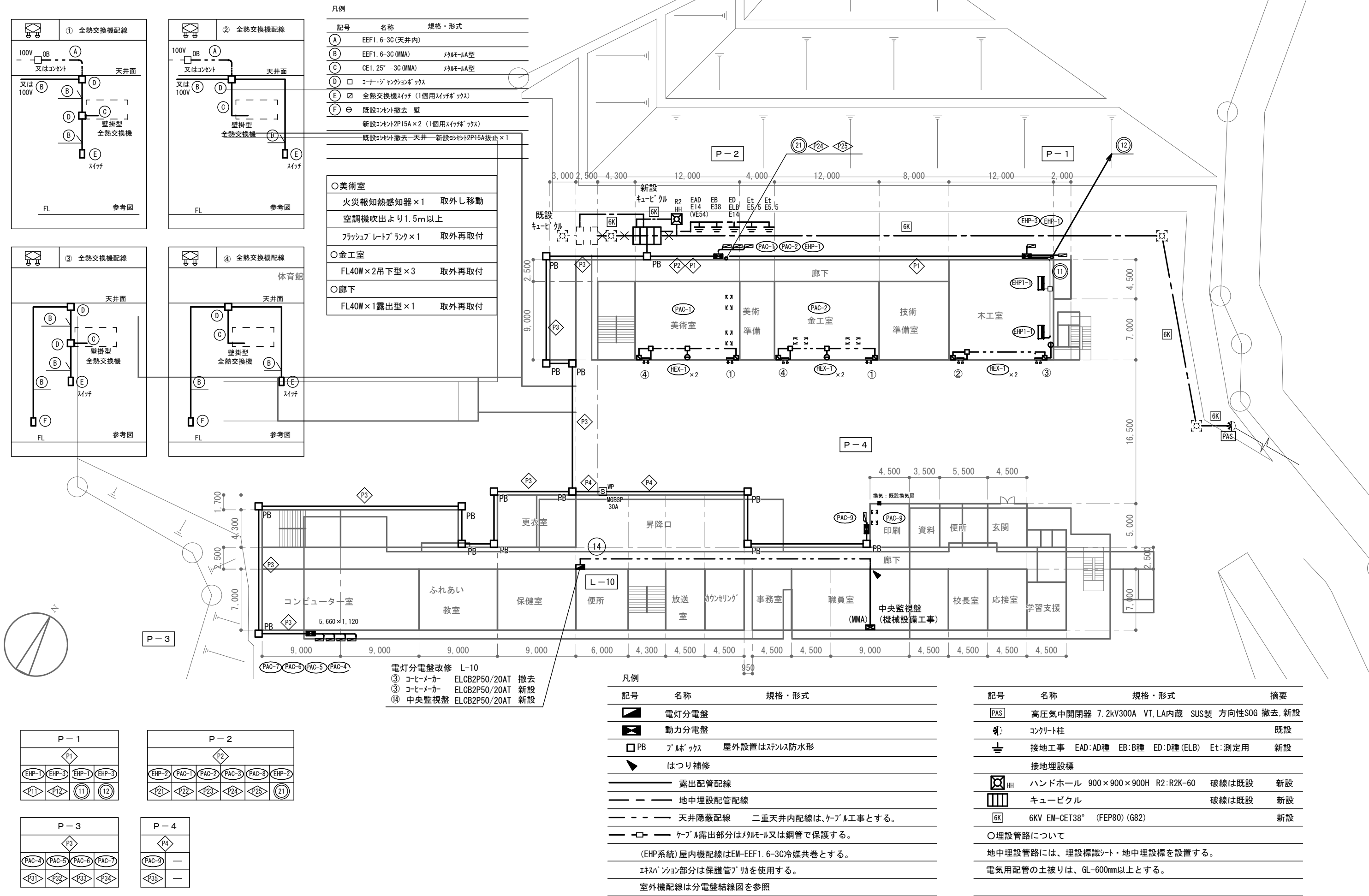
5. ELCB回路がある分電盤は、専用接地座を取付る。

6. 破線は受変電設備別図参照。

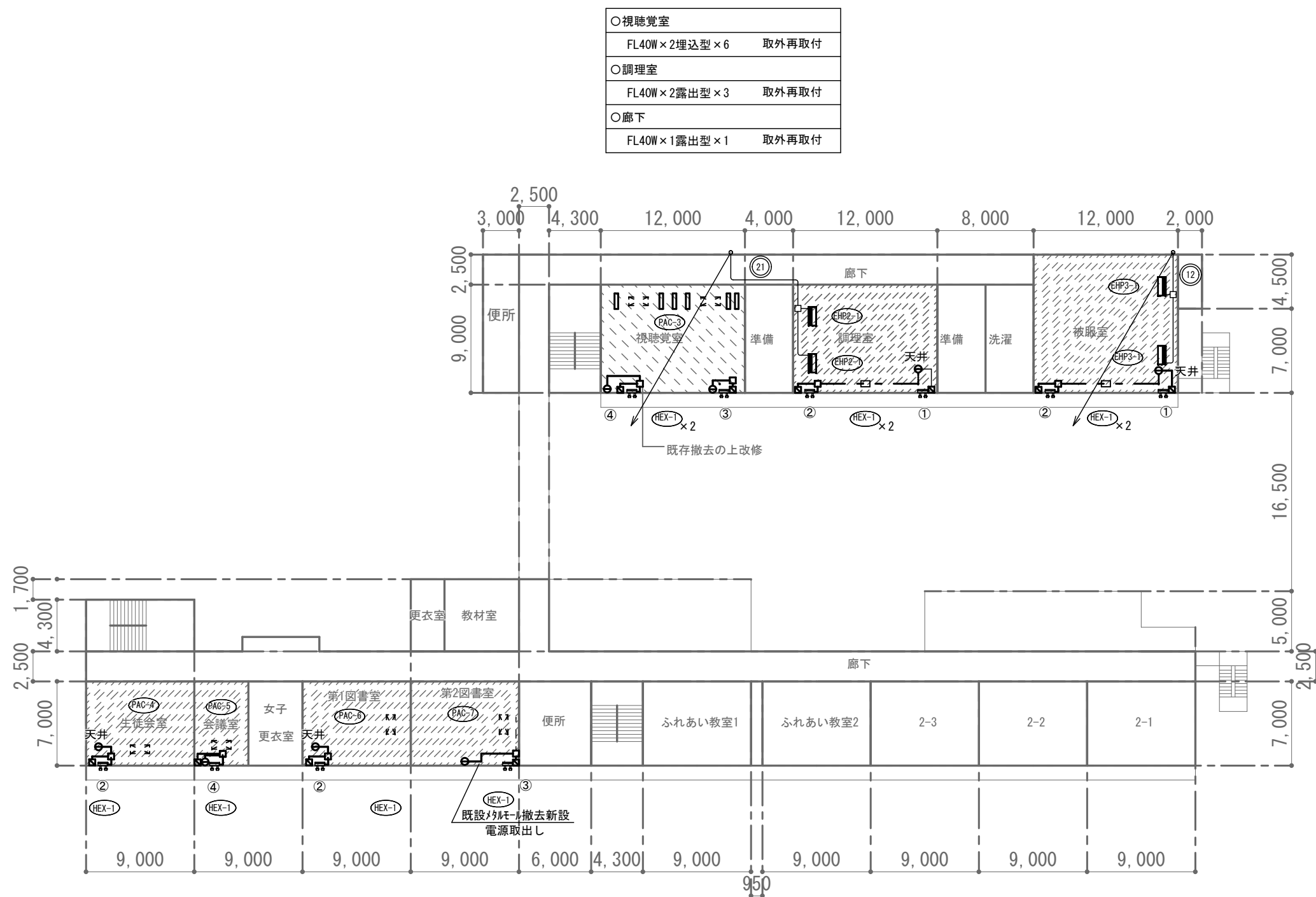
国府中学校

国府中学校特別教室等空調設備整備工事

図面名称 分電盤結線図			設計	図面番号 E-03
図尺	縮尺	単位	設計	



A棟



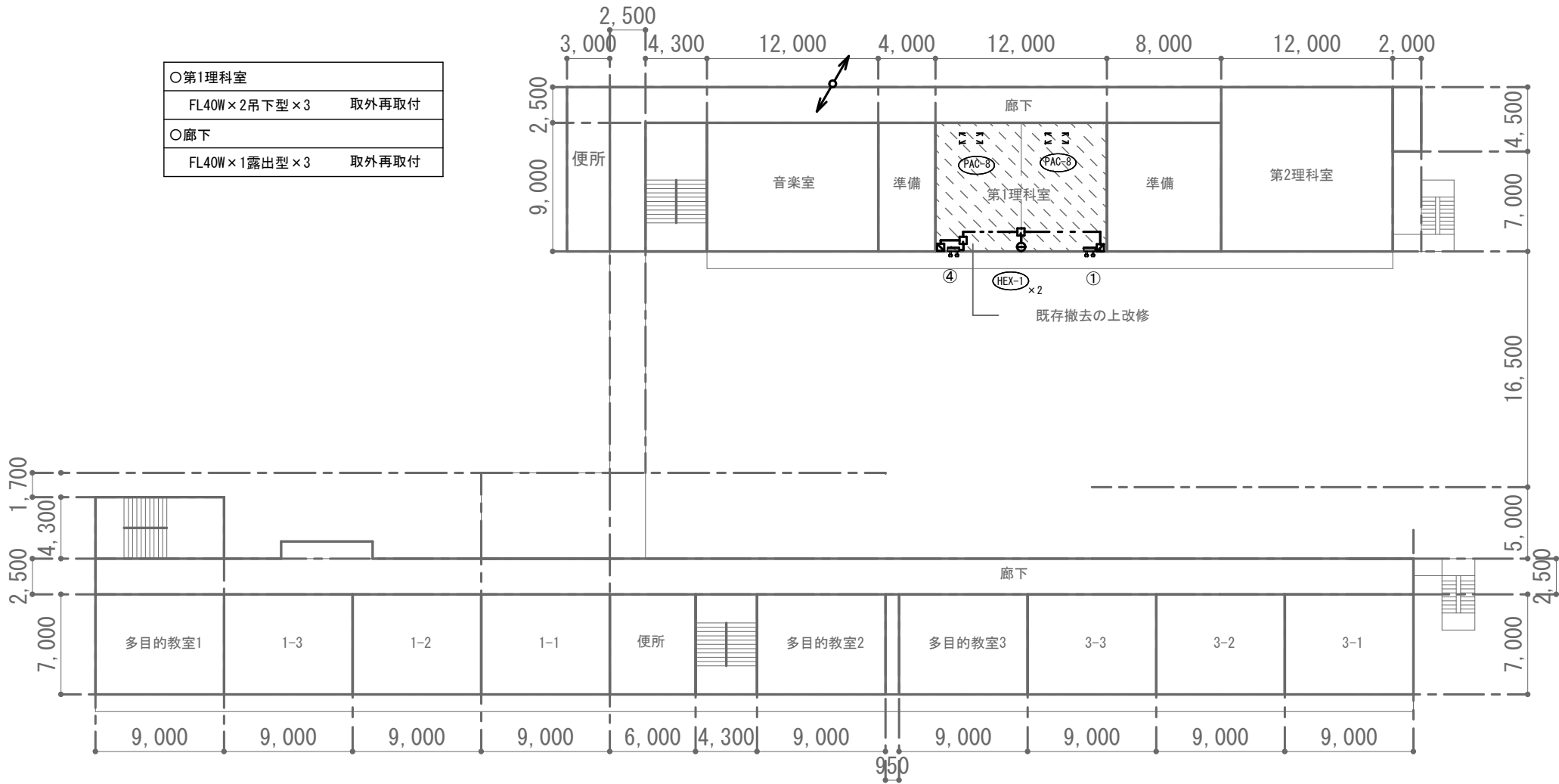
○視聴覚室	
FL40W×2埋込型×6	取外再取付
○調理室	
FL40W×2露出型×3	取外再取付
○廊下	
FL40W×1露出型×1	取外再取付

○生徒会室	FL40W×1露出型×1	取外再取付
○会議室	FL40W×1露出型×1	取外再取付
○第1図書室	FL40W×1露出型×1	取外再取付
○第2図書室	FL40W×1露出型×1	取外再取付

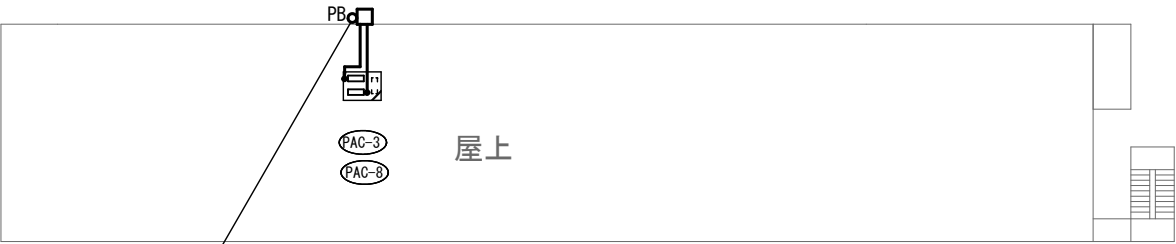
B棟

○第1理科室	
FL40W×2吊下型×3	取外再取付
○廊下	
FL40W×1露出型×3	取外再取付

A棟



○屋上	
既設屋外機撤去に伴う電源撤去	×1
CV5. 5° -4C (G28)	



B棟 屋上平面図

国府中学校特別教室等空調設備整備工事

図面名称	3階平面図	設計	図面番号	E-06
縮尺	1/400	製図	検閲	設計

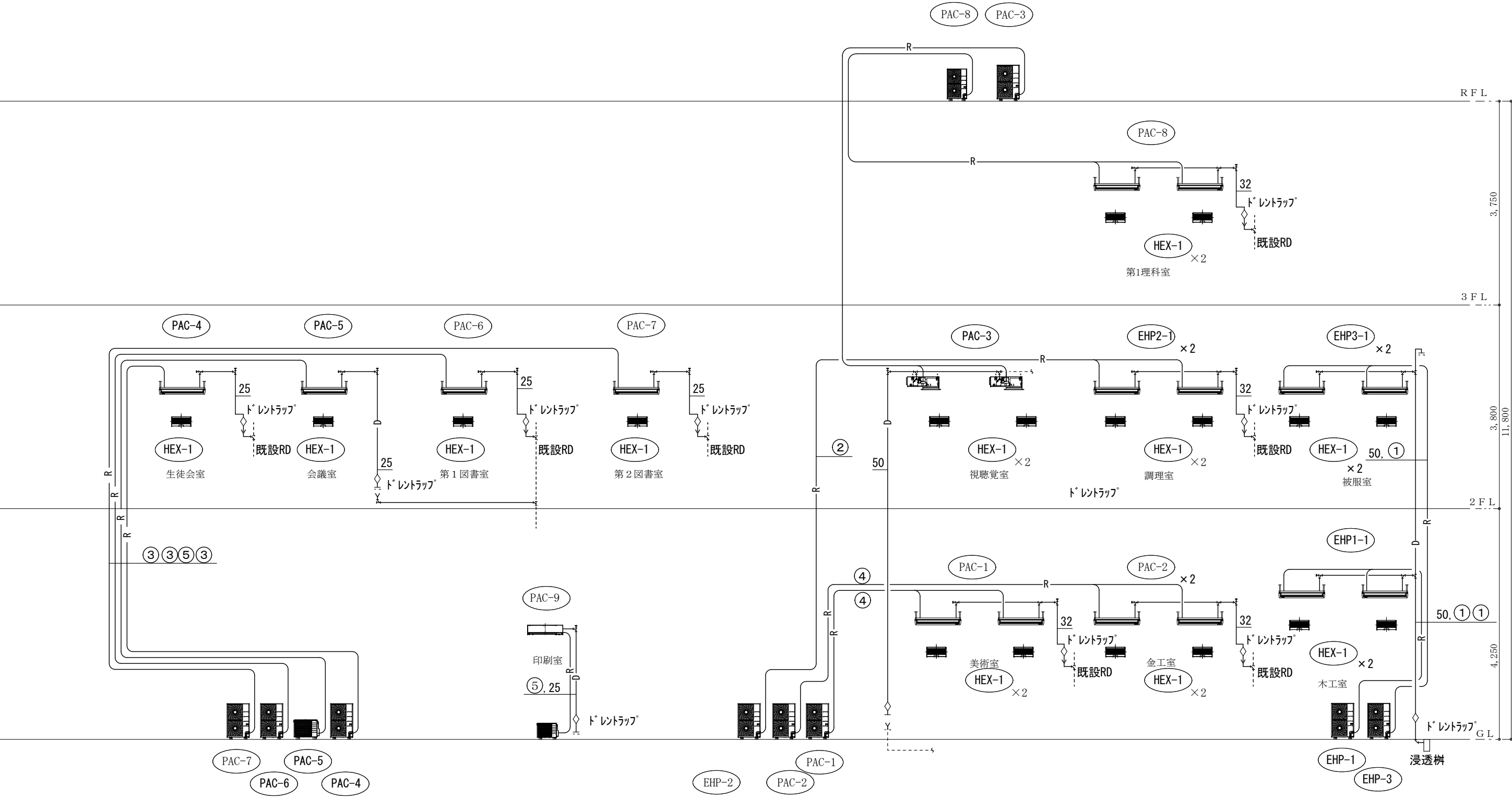
空調機器表

機器番号	機器名称 (系統名)	型式	室 外 機										室 内 機													非常電源	インターロック・連動	遠 方			冷媒配管 ガス・液	コンクリート基礎	防振装置 G:ゴム S:スプリング P:プラスチック	(型番)備考							
			設置階	台数	冷房能力 KW/H	吸込空気温度	暖房能力 KW/H	吸込空気温度	送風機 KW	圧縮機 KW	電源		起動方式	設置階	台数	冷房能力 KW/H	吸込空気温度	暖房能力 KW/H	吸込空気温度	送 風 機			ヒーター KW	電源				起動方式	外気量 m³/h	加湿量 kg/h					フィルター						
											相	電圧								送風量 m³/h	機外静圧 Pa	出力 W		相	電圧																
EHP-1 EHP1-1	B棟木工室系統屋外機 木工室空調機	マチマルチ空調機屋外機 (塩害仕様・ﾌｴﾁﾌﾞﾌｨﾙﾀｰ付) 天吊1方向屋内機	屋外 (1F)	1	31.5	JIS	31.5	JIS	0.26×2 (消費電力11.0KW)	9.87×1 11.0KW	3	200	直入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	直入 (消費電力・238W)	-	-	-	-	-	-	ﾒｰｶｰ標準	-	-	○	○	○	25.4φ-12.7φ	200	S	参考型番 (ﾀｲﾎﾟﾝ: RXTA335A相当) 1100W*360D*1615H 165kg 参考型番 (ﾀｲﾎﾟﾝ: FXYHA112AA相当) 1550W*690D*235H 42kg
EHP-2 EHP2-1	B棟調理室系統屋外機 調理室空調機	マチマルチ空調機屋外機 (塩害仕様・ﾌｴﾁﾌﾞﾌｨﾙﾀｰ付) 天吊1方向屋内機	屋外 (1F)	1	25.0	JIS	28.0	JIS	0.26×2 (消費電力7.67KW)	6.61×1 7.67KW	3	200	直入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	直入 (消費電力・238W)	-	-	-	-	-	-	ﾒｰｶｰ標準	-	-	○	○	○	22.2φ-9.5φ	200	S	参考型番 (ﾀｲﾎﾟﾝ: RXTA280A相当) 1100W*360D*1615H 165kg 参考型番 (ﾀｲﾎﾟﾝ: FXYHA112AA相当) 1550W*690D*235H 42kg	
EHP-3 EHP3-1	B棟被服室系統屋外機 被服室空調機	マチマルチ空調機屋外機 (塩害仕様・ﾌｴﾁﾌﾞﾌｨﾙﾀｰ付) 天吊1方向屋内機	屋外 (1F)	1	31.5	JIS	31.5	JIS	0.26×2 (消費電力11.0KW)	9.87×1 11.0KW	3	200	直入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	直入 (消費電力・240W)	-	-	-	-	-	-	ﾒｰｶｰ標準	-	-	○	○	○	25.4φ-12.7φ	200	S	参考型番 (ﾀｲﾎﾟﾝ: RXTA335A相当) 1100W*360D*1615H 165kg 参考型番 (ﾀｲﾎﾟﾝ: FXYHA140AA相当) 1550W*690D*235H 44kg	
PAC-1	B棟美術室空調機 (ツイン型)	天吊1方向屋内機 (塩害仕様)	屋外 (1F)	1	20.0	JIS	22.4	JIS	0.227×2 (消費電力・6.6KW)	4.52	3	200	直入	1	2	10.0	JIS	11.2	JIS	1,440	-	150	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ﾒｰｶｰ標準	-	-	○	○	○	25.4φ-9.52φ 15.9φ-9.52φ	200	P	参考型番 (ﾀｲﾎﾟﾝ: SSRH224C (N)D相当) 外)940W*320D*1,430H 123kg 内)1,590W*690D*235H 40kg
PAC-2	B棟金工室空調機 (ツイン型)	天吊1方向屋内機 (塩害仕様)	屋外 (1F)	1	20.0	JIS	22.4	JIS	0.227×2 (消費電力・6.6KW)	4.52	3	200	直入	1	2	10.0	JIS	11.2	JIS	1,440	-	150	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ﾒｰｶｰ標準	-	-	○	○	○	25.4φ-9.52φ 15.9φ-9.52φ	200	P	参考型番 (ﾀｲﾎﾟﾝ: SSRH224C (N)D相当) 外)940W*320D*1,430H 123kg 内)1,400W*800D*272H 50kg
PAC-3	B棟視聴覚室空調機 (ツイン型)	天吊ﾋﾞﾙﾄｲﾝ屋内機 (塩害仕様)	屋外 (RF)	1	20.0	JIS	22.4	JIS	0.227×2 (消費電力・6.58KW)	4.52	3	200	直入	2	2	10.0	JIS	11.2	JIS	1,530	-	300	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ﾒｰｶｰ標準	-	-	○	○	○	25.4φ-9.52φ 15.9φ-9.52φ	200	P	参考型番 (ﾀｲﾎﾟﾝ: SSRB224CD相当) 外)940W*320D*1,430H 123kg 内)1,590W*690D*235H 40kg
PAC-4	A棟生徒会室空調機 (ベア型)	天吊1方向屋内機 (塩害仕様)	屋外 (1F)	1	12.5	JIS	14.0	JIS	0.11+0.11 (消費電力・4.2KW)	2.36	3	200	直入	2	1	12.5	JIS	14.0	JIS	1,680	-	150	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ﾒｰｶｰ標準	-	-	○	○	○	15.88φ-9.52φ	200	P	参考型番 (ﾀｲﾎﾟﾝ: SSRH140C (N)相当) 外)940W*320D*1,430H 123kg 内)1,590W*690D*235H 40kg
PAC-5	A棟会議室空調機 (ベア型)	天吊1方向屋内機 (塩害仕様)	屋外 (1F)	1	5.6	JIS	6.3	JIS	0.05 (消費電力・1.62KW)	1.1	3	200	直入	2	1	5.6	JIS	6.3	JIS	900	-	91	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ﾒｰｶｰ標準	-	-	○	○	○	12.7φ-6.4φ	200	P	参考型番 (ﾀｲﾎﾟﾝ: SSRH63C (N)T相当) 外)795W*300D*610H 42kg 内)1,270W*690D*235H 31kg
PAC-6	A棟第1図書室空調機 (ベア型)	天吊1方向屋内機 (塩害仕様)	屋外 (1F)	1	12.5	JIS	14.0	JIS	0.11+0.11 (消費電力・4.2KW)	2.36	3	200	直入	2	1	12.5	JIS	14.0	JIS	1,680	-	150	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ﾒｰｶｰ標準	-	-	○	○	○	15.88φ-9.52φ	200	P	参考型番 (ﾀｲﾎﾟﾝ: SSRH140C (N)相当) 外)940W*320D*1,430H 90kg 内)1,590W*690D*235H 40kg
PAC-7	A棟第2図書室空調機 (ベア型)	天吊1方向屋内機 (塩害仕様)	屋外 (1F)	1	12.5	JIS	14.0	JIS	0.11+0.11 (消費電力・4.2KW)	2.36	3	200	直入	2	1	12.5	JIS	14.0	JIS	1,680	-	150	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ﾒｰｶｰ標準	-	-	○	○	○	15.88φ-9.52φ	200	P	参考型番 (ﾀｲﾎﾟﾝ: SSRH140C (N)相当) 外)940W*320D*1,430H 90kg 内)1,590W*690D*235H 40kg
PAC-8	B棟第1理科室空調機 (ツイン型)	天吊1方向屋内機 (塩害仕様)	屋外 (RF)	1	20.0	JIS	22.4	JIS	0.227×2 (消費電力・6.6KW)	4.52	3	200	直入	3	2	10.0	JIS	11.2	JIS	1,440	-	150	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ﾒｰｶｰ標準	-	-	○	○	○	25.4φ-9.52φ 15.9φ-9.52φ	200	P	参考型番 (ﾀｲﾎﾟﾝ: SSRH224C (N)D相当) 外)940W*320D*1,430H 123kg 内)1,400W*800D*272H 50kg
PAC-9	印刷室空調機 (ベア型)	壁掛型屋内機 (塩害仕様)	屋外 (1F)	1	5.6	JIS	6.3	JIS	0.05 (消費電力・1.6KW)	1.1	3	200	直入	1	1	5.6	JIS	6.3	JIS	900	-	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ﾒｰｶｰ標準	-	-	○	○	○	12.70φ-6.40φ	200	P	参考型番 (ﾀｲﾎﾟﾝ: SSRA63C (N)T相当) 外)795W*300D*610H 42kg 内)1,050W*238D*290H 13kg
ITC-1	中央監視盤	ｲﾝﾃﾘｼﾞｪﾝﾄﾕｰﾅｰ																																				参考型番 (ﾀｲﾎﾟﾝ: DCL401B1相当)			
																																				</					

※全ての空調屋内機はｲﾝﾃﾘｼﾞｪﾝﾄｺﾝﾄﾛｰｰに接続可能なﾌｴﾌﾞｰｰを付属とする。
※EHP屋内機には1対1でﾌｴｰﾄﾞﾘﾓﾝ付とする。
※PACには屋外機台数1台に付き屋内機に1個のﾌｴｰﾄﾞﾘﾓﾝ付とする。
※屋外機には『転倒防止ﾌｴｰ』を付属。
※空調機は公共建築仕様とする
※『空調機付属ﾌｴﾁﾌﾞﾌｨﾙﾀｰ』の無い機器は、『別置きﾌｴﾁﾌﾞﾌｨﾙﾀｰ』付とする。

換気機器表				(電気工事へ支給) ⑦：ワイヤードリモコン ※HEXには1対1でワイードリモコン付とする。																	
機器番号	機 器 名 称 〔 系 統 名 〕	設 置 階	台 数	機器仕様					電動機（５０ＨＺ）					インターロック・連動	遠 方			運 転 方 法 （電気工事）	防振装置		
				型 式	消音ボックス付	据 手	風量 m³／h	静圧 Pa	動力 （参考値） W	相 φ	電圧 V	極 数 P	起動方式		非常電源	発 停	運 転 故 障 表 示		警 報	G：ゴム S：ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ P：ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	備 考（参考型番）
HEX-1	空 調 換 気 扇	1	6	壁掛型全熱交換器	—	⑦75φ _{x2}	75	30	33.0	1	100	—	直 入	—	—	○	○	○	⑦	—	(三菱：VL-16EU3相当) 24時間スイッチ付
		2	10																		
		3	2																		

				国府中学校特別教室等空調設備整備工事	図面名称 空調換気設備 機器表1			日付	図面番号 M-02		
					版次 N/S			積込			








空調配管系統図

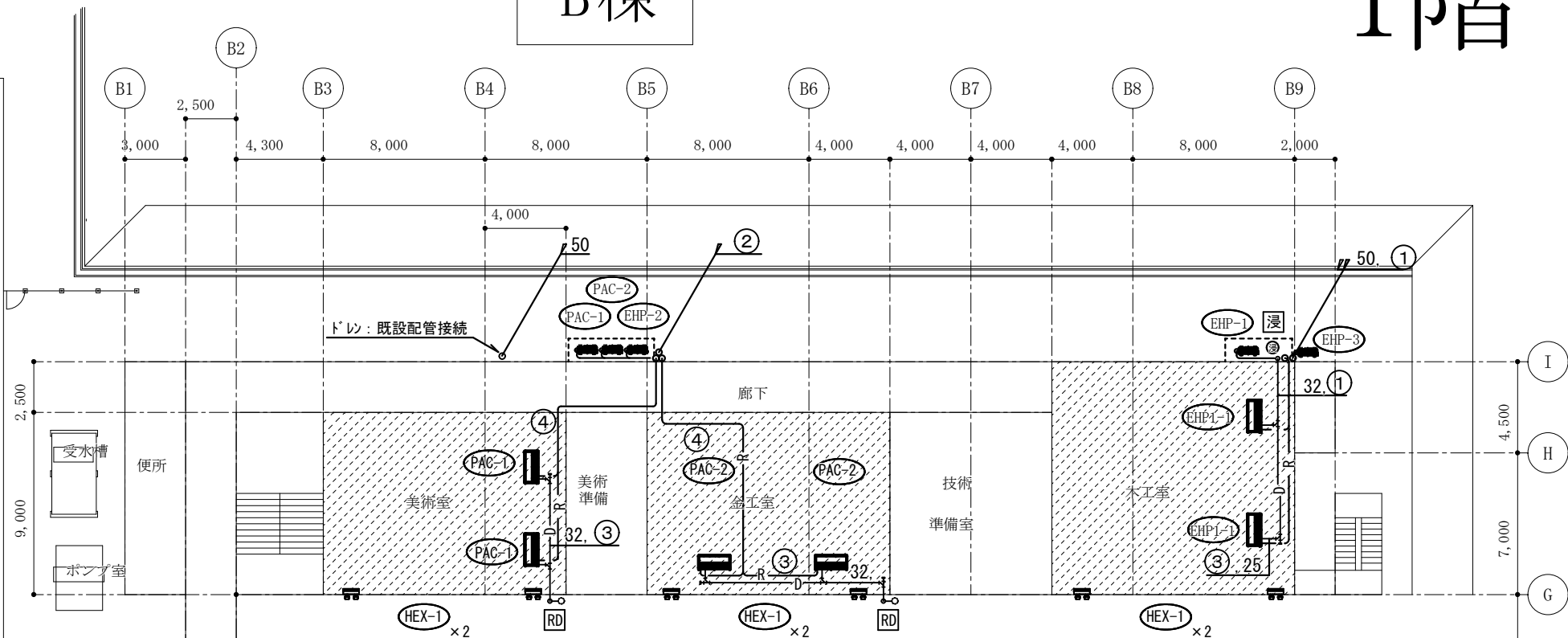
1階

B棟

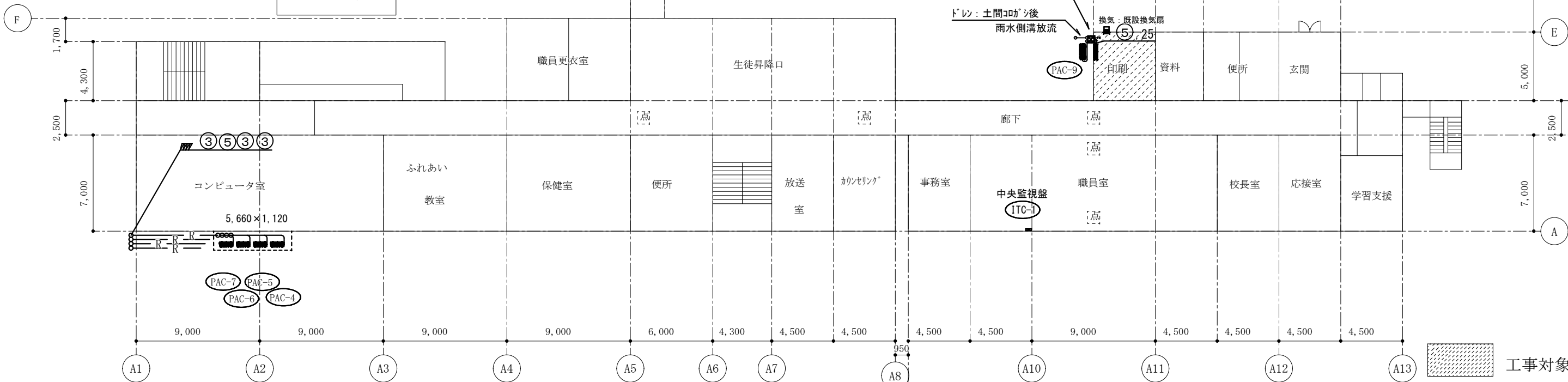
冷媒管リスト

	ガス管	液管
①	25.4φ	12.7φ
②	22.2φ	9.5φ
③	15.9φ	9.5φ
④	25.4φ	9.5φ
⑤	12.7φ	6.4φ

- ※： は浸透樹（200φ-500H-塩ビ蓋）を示す。
- ※： 部はドレン末端に【ドレントラップ】を設け【間接排水口】にて最寄100φルーフドレンへ接続。
- ※： 部はドレン末端に【ドレントラップ】を設け土間コンクリート部にドレンルを設へ、放流する。
- ※： 部はドレン末端に【ドレントラップ】を設け浸透樹へ放流。
- ※： 部は壁スリーブを示す。



A棟



工事対象室

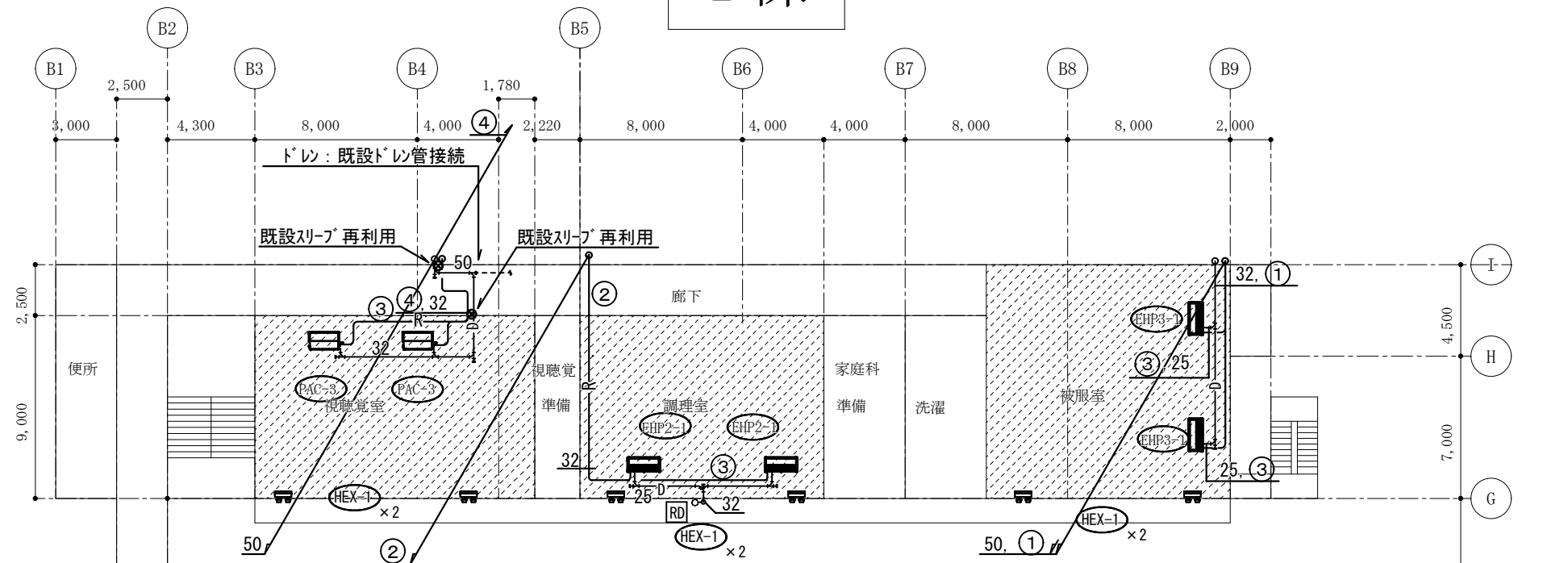
2階

B棟

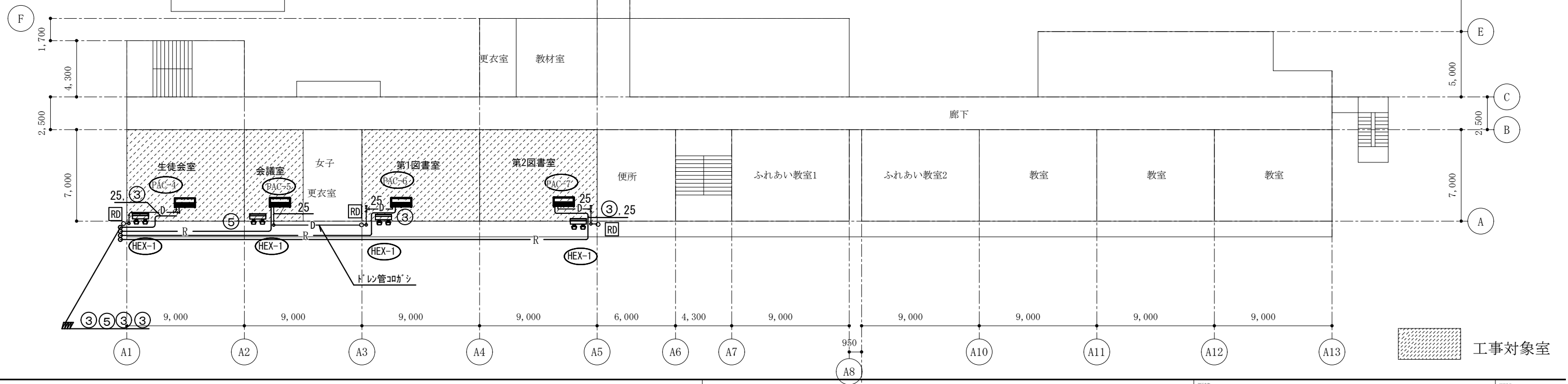
冷媒管リスト

	ガス管	液管
①	25.4φ	12.7φ
②	22.2φ	9.5φ
③	15.9φ	9.5φ
④	25.4φ	9.5φ
⑤	12.7φ	6.4φ

- ※：DL 部はドレン末端に【ドレントラップ】を設け屋外コンクリート部にドレンレールを設けベランダ側溝へ放流する。
- ※：RD 部はドレン末端に【ドレントラップ】を設け【間接排水口】にて最寄100φルーフドレンへ接続。
- ※：⊗ は既設スリーブ再利用個所を示す。



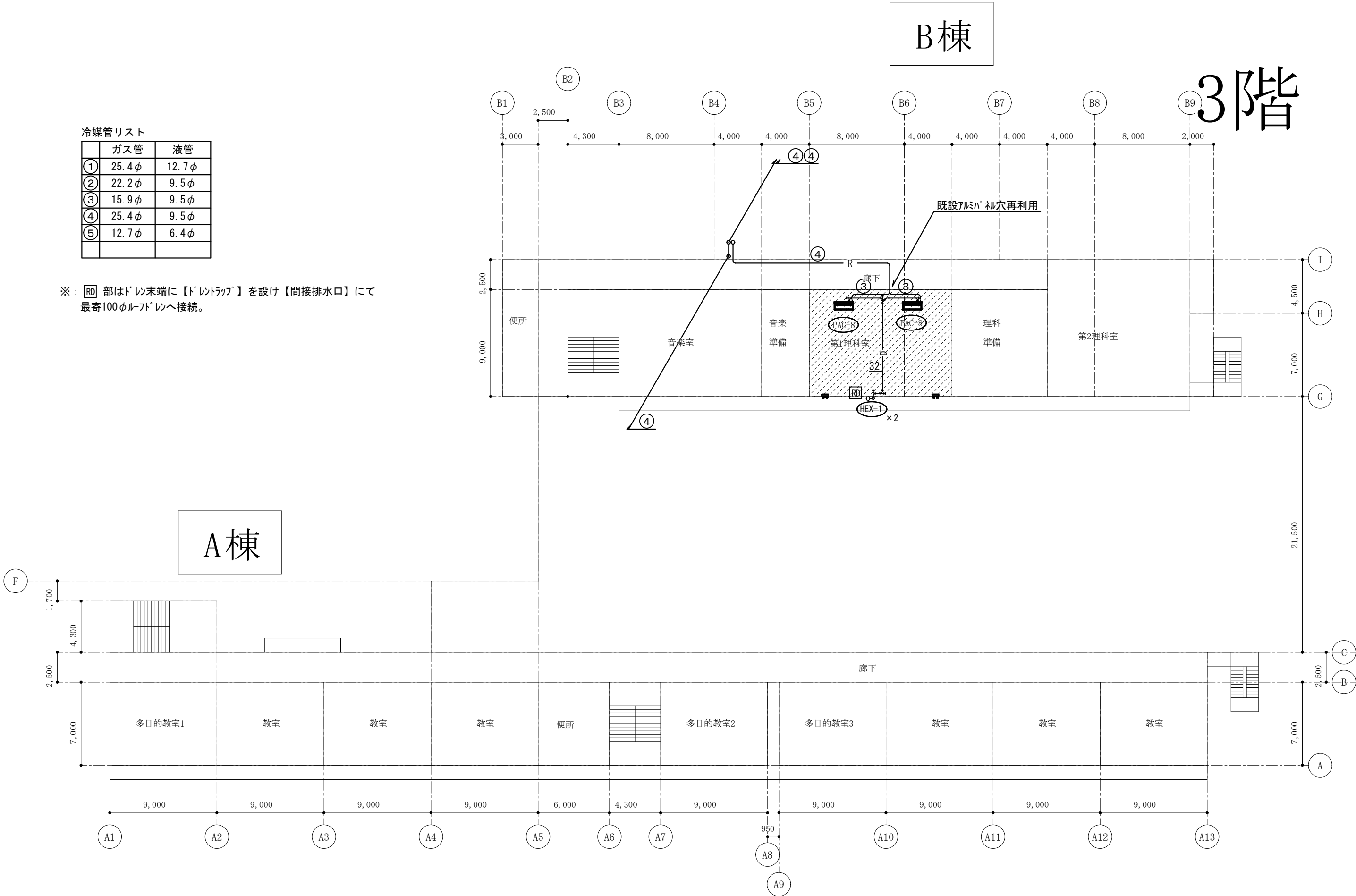
A棟



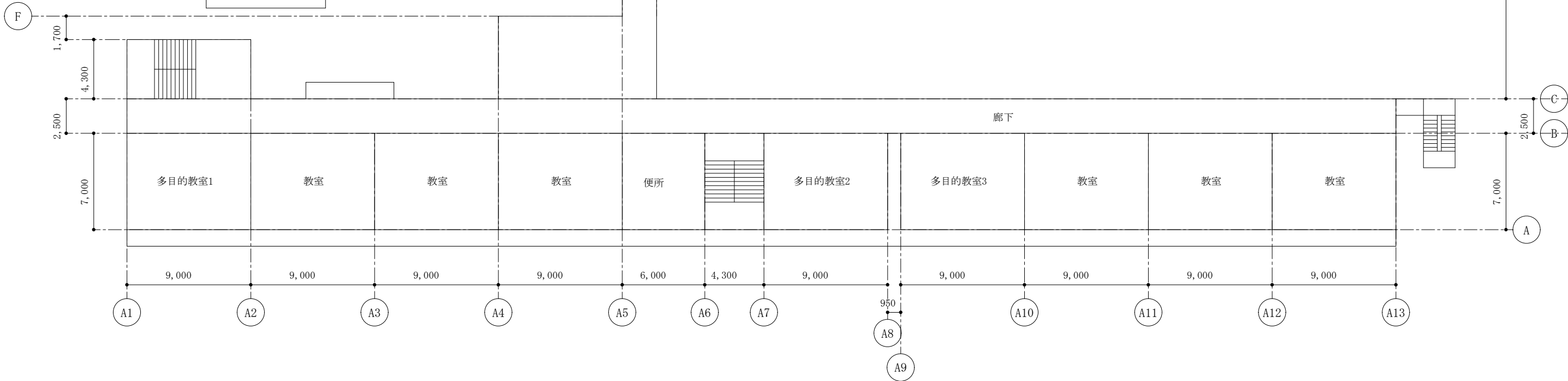
冷媒管リスト

	ガス管	液管
①	25.4φ	12.7φ
②	22.2φ	9.5φ
③	15.9φ	9.5φ
④	25.4φ	9.5φ
⑤	12.7φ	6.4φ

※：**RD** 部はドレン末端に【ドレントラップ】を設け【間接排水口】にて最寄100φルーフドレンへ接続。



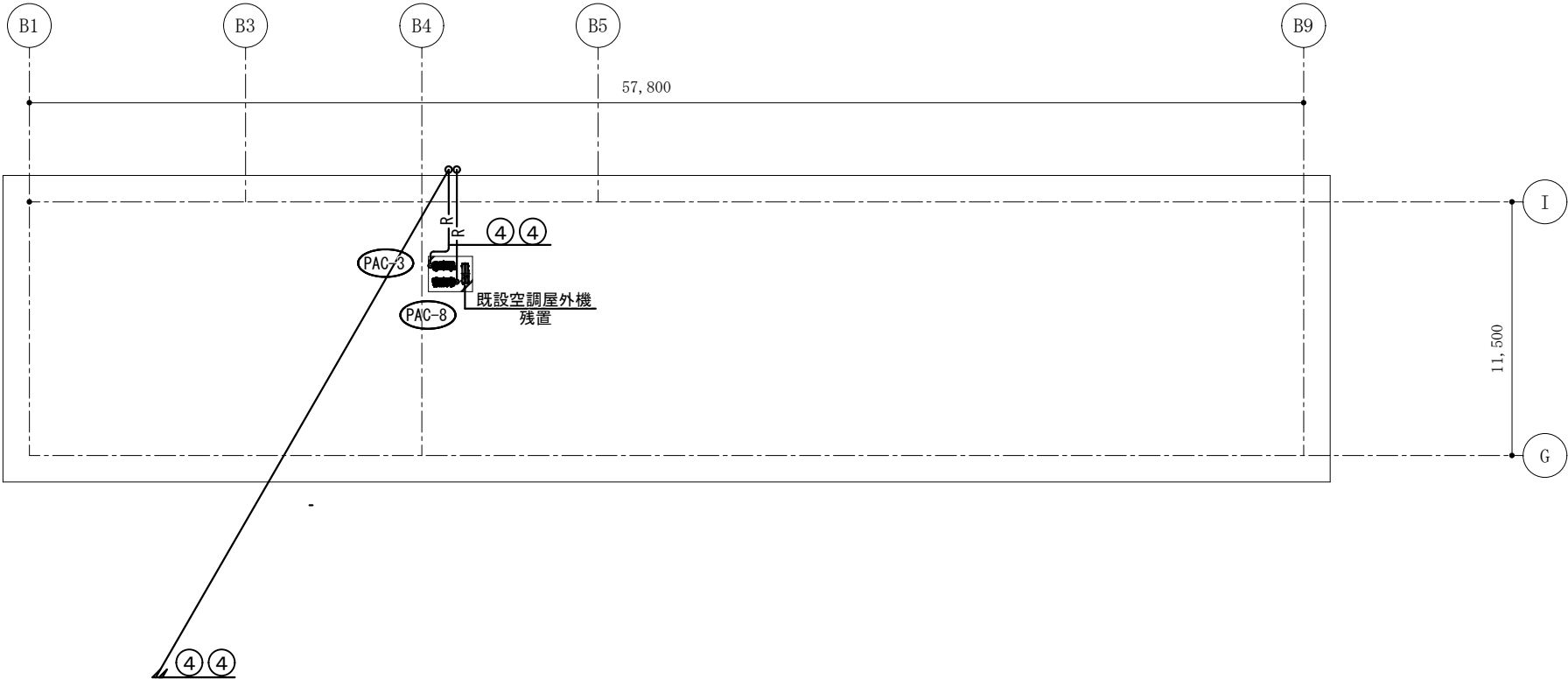
A棟



B棟

R階

	ガス管	液管
④	25.4φ	9.5φ



普通教室

1500

FL

天井面

コンセント (電気工事)

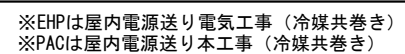
EM-CEE1.25 \square -2C (MM-A)

24時間SW (電気工事へ支給)

窓枠付全熱交換機 (本工事)

電気工事基準

注1) 室内機振れ止め取付けは監督員と協議の上決定すること。(共通)



Technical drawing of a SUS L-shaped steel bracket (SUS L型形鋼) with dimensions and labels:

- Material: SUS L型形鋼
- Dimensions: $40 \times 40 \times 5$ t
- Label: 配管 (Piping)
- Dimensions: 100 (width), 600 (height)
- Weight calculation: $0.8 \text{ m} \times 2.97 \text{ kg/m} = 2.38 \text{ kg}$

Technical drawing of the side view of the 'L' shaped support structure. The drawing shows a horizontal top rail with a width of 600 mm and a vertical support leg with a height of 500 mm. The support leg is made of SUS L-shaped steel (40 x 40 x 5 t). Three circular rollers are shown at the bottom of the support leg, with arrows indicating they are on wheels.

800

Uボルト
又はUバンド

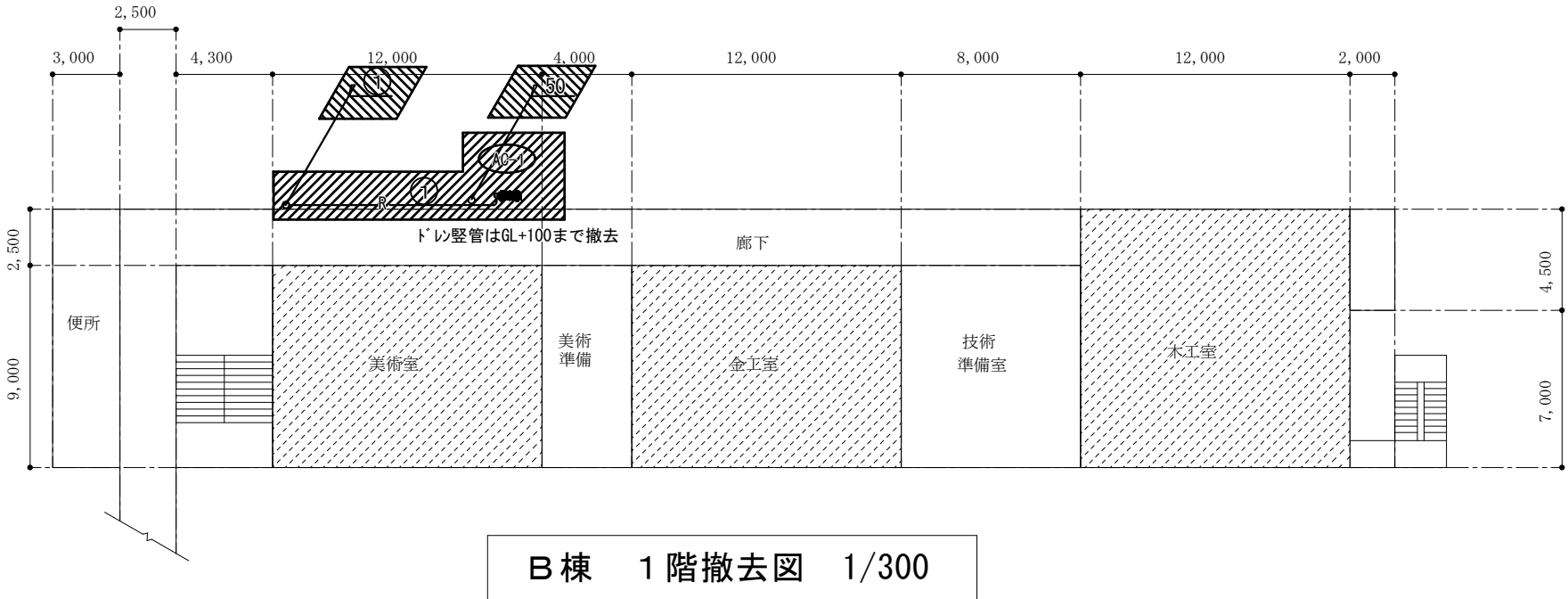
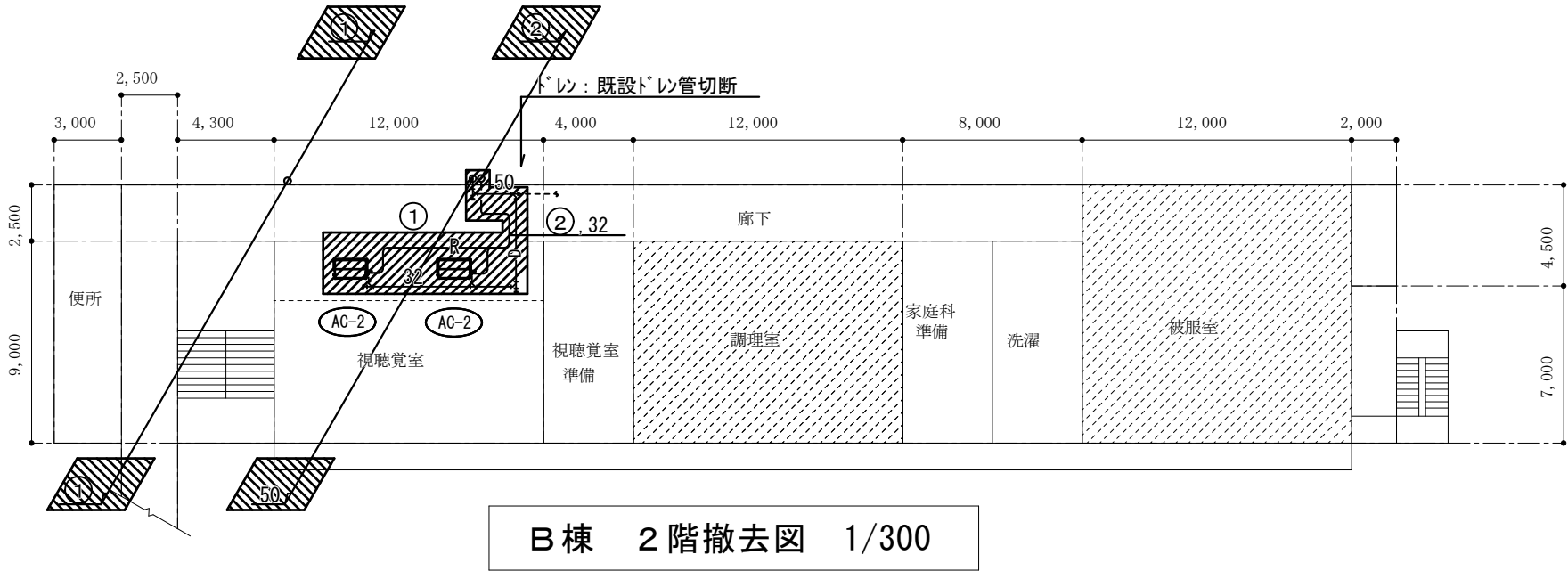
SUS L型形鋼
40×40×5 t

$2.0\text{ m} \times 2.97\text{ kg/m} = 5.94\text{ kg}$

既設空調機器表									
記 号	名 称	仕 様	動 力		起動 方法	台数	設 置 場 所	備 考	
			φ	V					k W
A C - 1	既 設 空 調 機 1	型式： 天吊シングル型	3	200	1.62	—	1	B棟3階 第一理科室	
		能力： 冷房：5.6kW 暖房：6.3kW						(屋外機GL設置)	
A C - 2	既 設 空 調 機 2	屋外機	3	200	6.5	—	1	B棟2階 視聴覚室	
	ビル用マルチ空調機	能力： 冷房：22.5kW 暖房：25.0kW						(屋外機屋上設置)	
		屋内機 天井ビルトイン型							
		能力： 冷房：11.2kW 暖房：12.5kW					2		
		吸込側：ハーフセット+キャンパス継手30cm共							
		吹出側：VHS1,400×320+キャンパス継手30cm共							

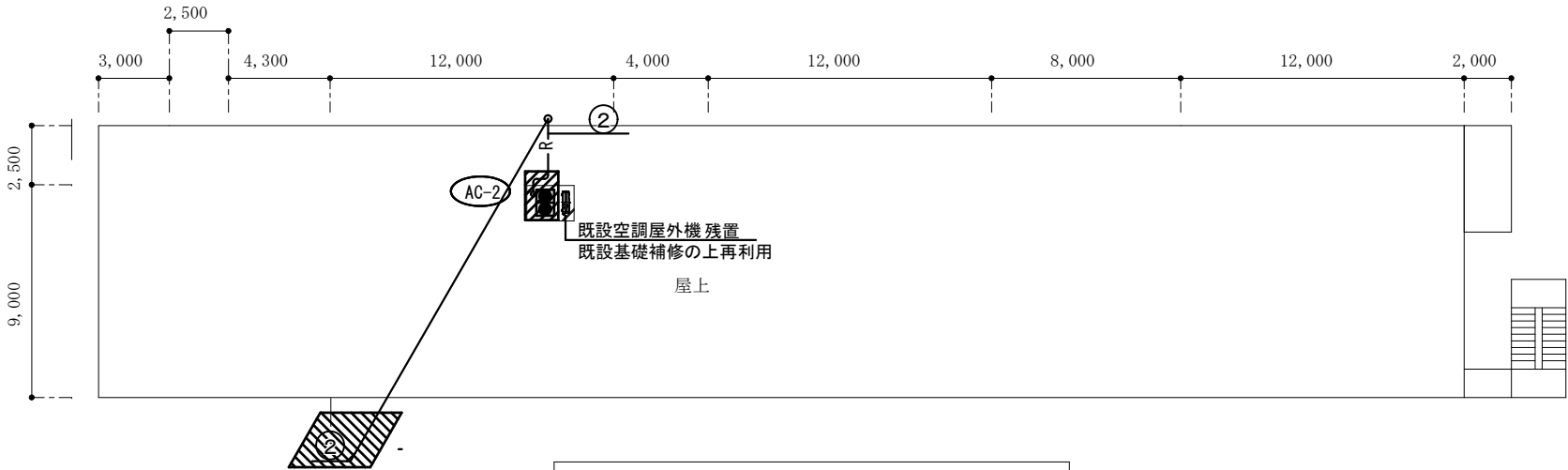
冷媒管リスト

	ガス管	液管
①	15.9φ	9.5φ
②	25.4φ	9.5φ

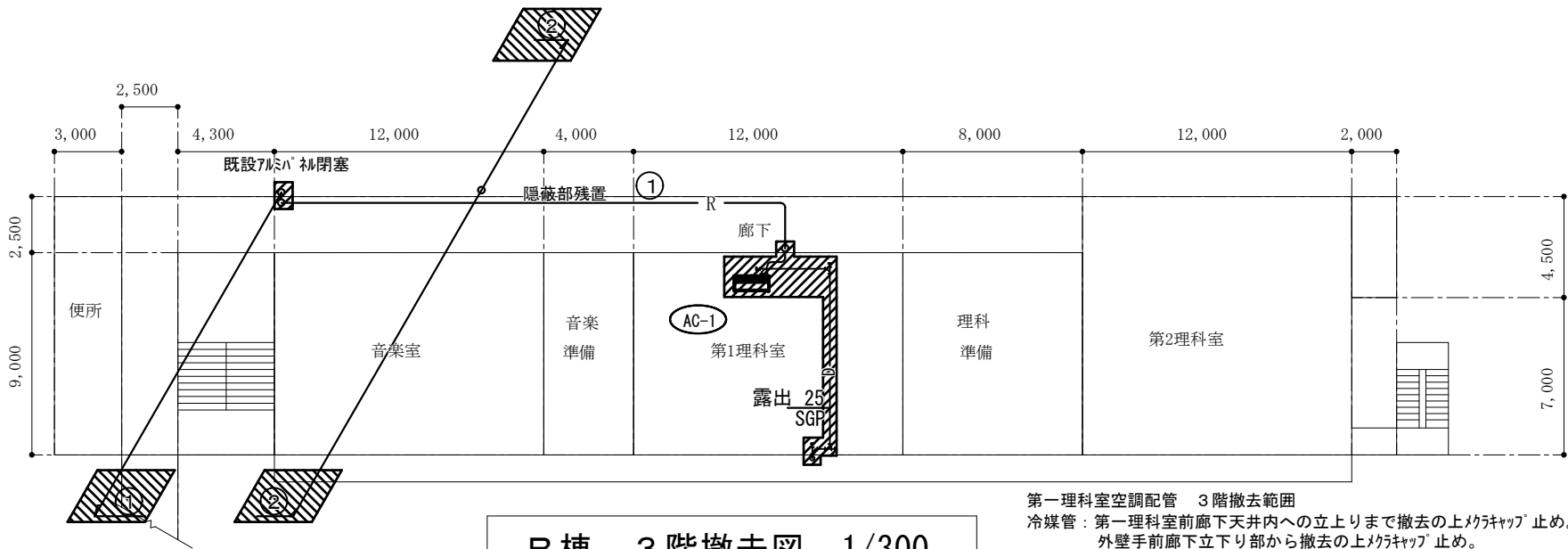


冷媒管リスト

	ガス管	液管
①	15.9φ	9.5φ
②	25.4φ	9.5φ





B棟 屋上撤去図 1/300



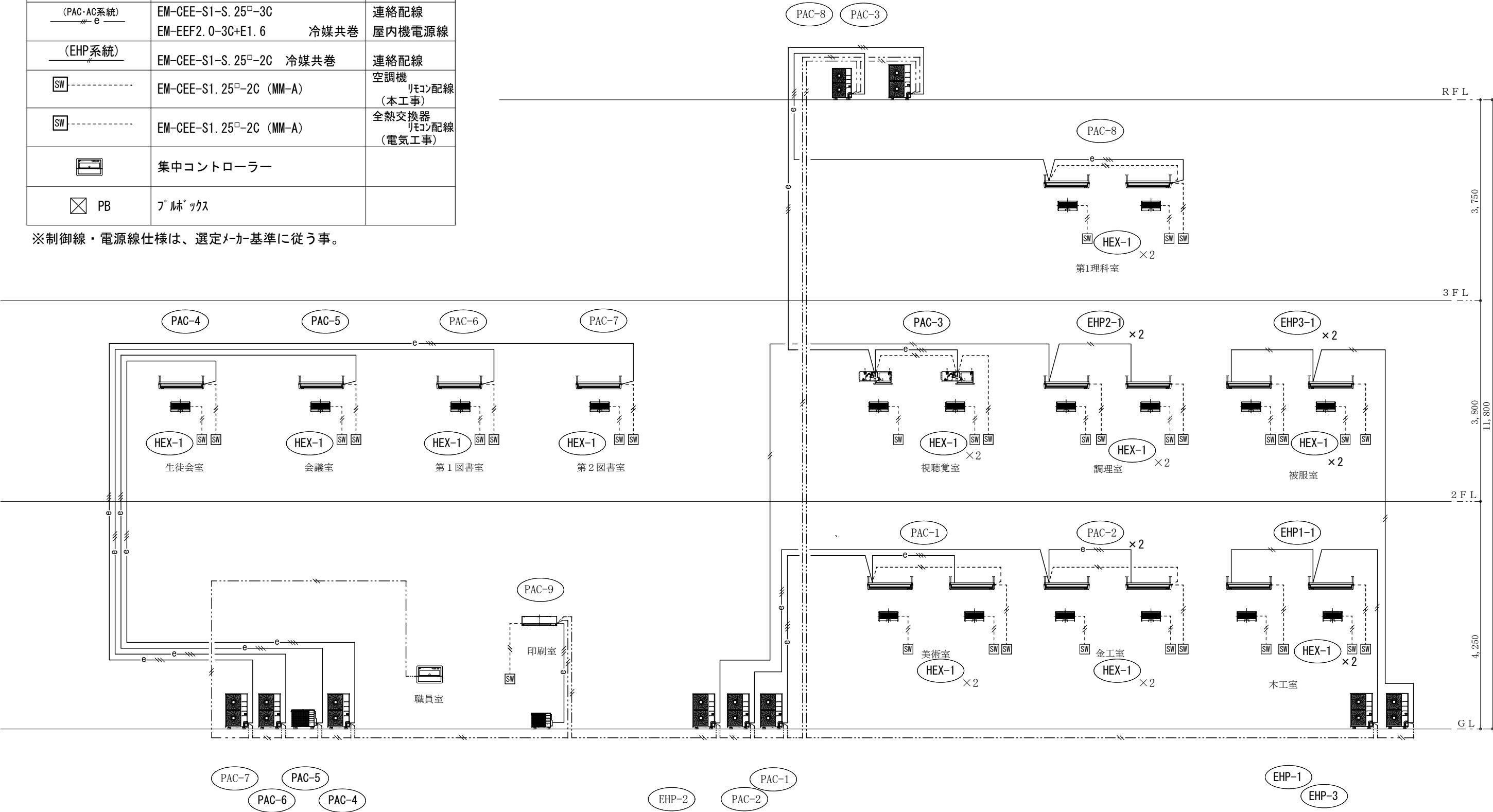
B棟 3階撤去図 1/300

第一理科室空調配管 3階撤去範囲
冷媒管：第一理科室前廊下天井内への立上りまで撤去の上マラキャップ止め。
外壁手前廊下立下り部から撤去の上マラキャップ止め。
天井内配管は残置。
ドレン管：全て撤去

凡 例

(集中コントローラ系統) -----#-----	EM-CEE-S1.25□-2C (G16)	連絡配線
(PAC・AC系統) -----#e-----	EM-CEE-S1-S.25□-3C EM-EEF2.0-3C+E1.6 冷媒共巻	連絡配線 屋内機電源線
(EHP系統) -----#-----	EM-CEE-S1-S.25□-2C 冷媒共巻	連絡配線
SW-----	EM-CEE-S1.25□-2C (MM-A)	空調機 リモコン配線 (本工事)
SW-----	EM-CEE-S1.25□-2C (MM-A)	全熱交換器 リモコン配線 (電気工事)
	集中コントローラー	
	ﾌﾟﾙｯｸｽ	

※制御線・電源線仕様は、選定メーカ基準に従う事。



空調計装配線系統図

<div></div> <div></div> <div></div> <div></div>	国府中学校特別教室等空調設備整備工事	図面名称	空調換気設備 計装配線系統図	日付		図面番号	M-11
		縮尺	N/S	検図		区分	

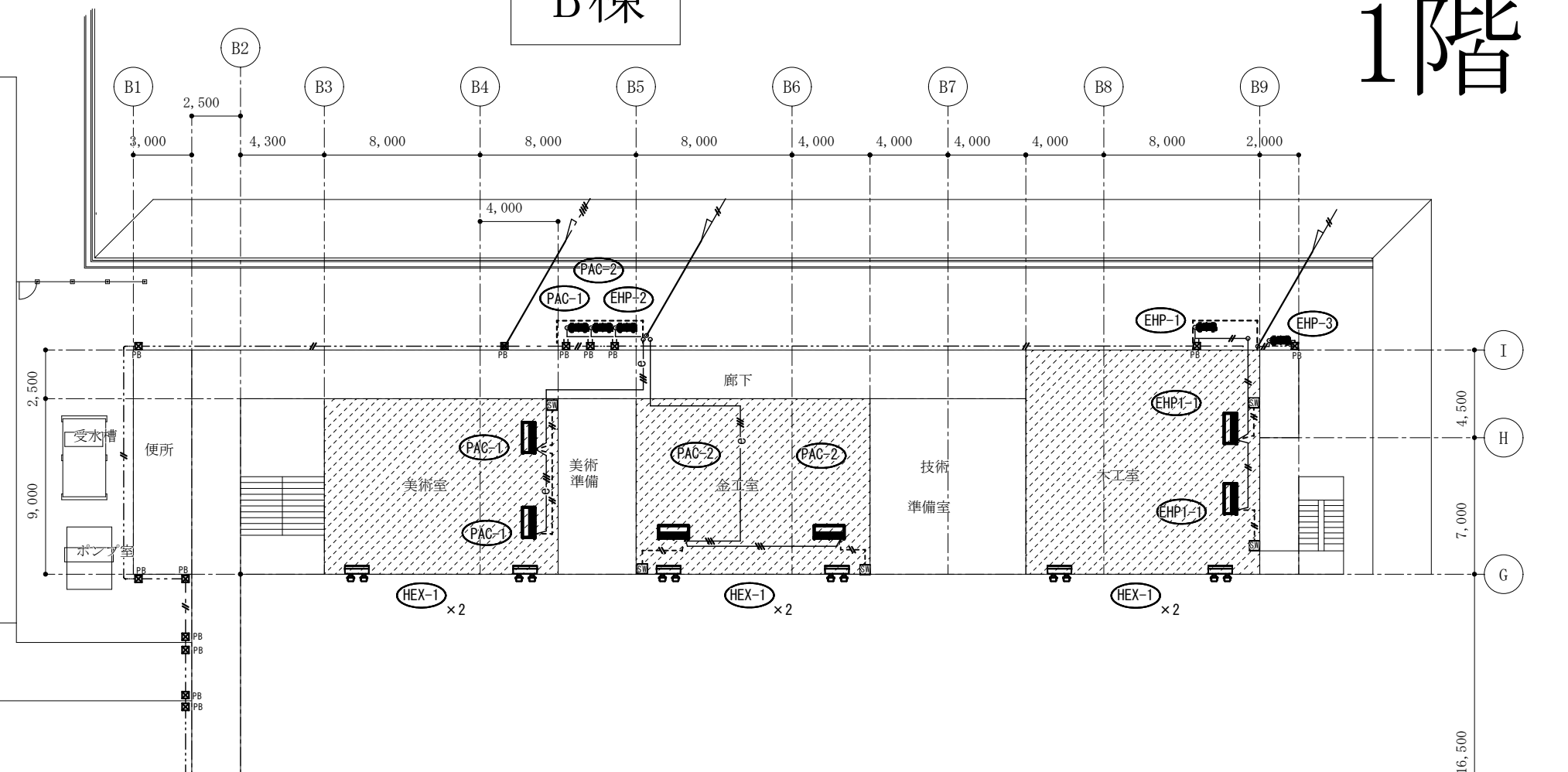
B棟

1階

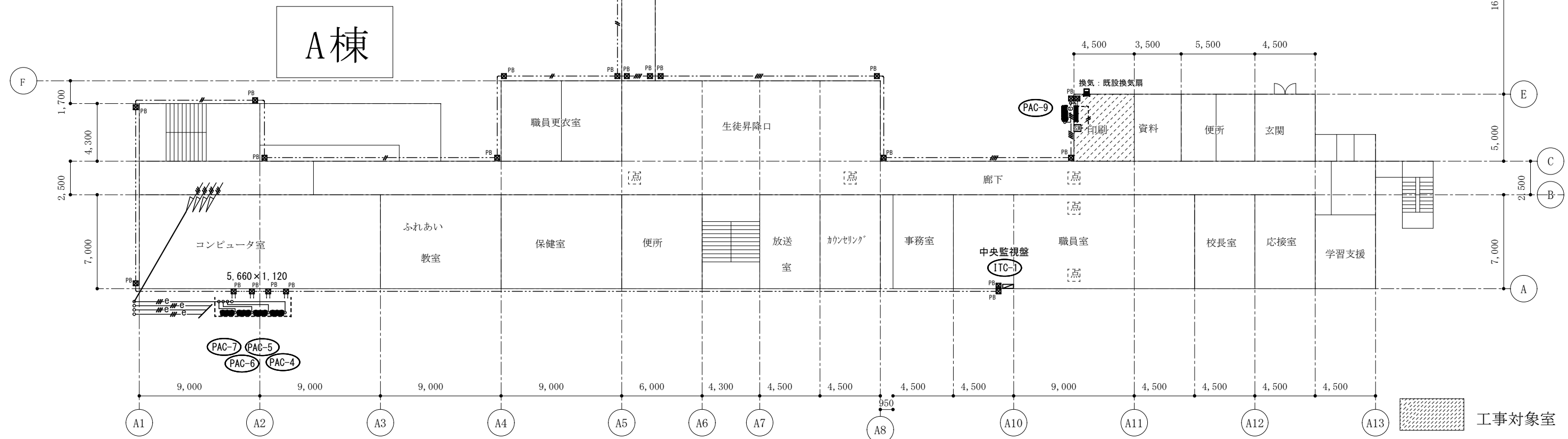
凡 例

(集中コントローラー系統) -----#-----	EM-CEE-S1.25 [□] -2C (G16)	連絡配線
(PAC・AC系統) -----#e-----	EM-CEE-S1-S.25 [□] -3C EM-EEF2.0-3C+E1.6 冷媒共巻	連絡配線 屋内機電源線
(EHP系統) -----#-----	EM-CEE-S1-S.25 [□] -2C 冷媒共巻	連絡配線
[SW]-----	EM-CEE-S1.25 [□] -2C (MM-A)	リモコン配線
	集中コントローラー	
 PB	体育館 ブルボックス	

※制御線・電源線仕様は、選定メーカー基準に従う事。



A棟



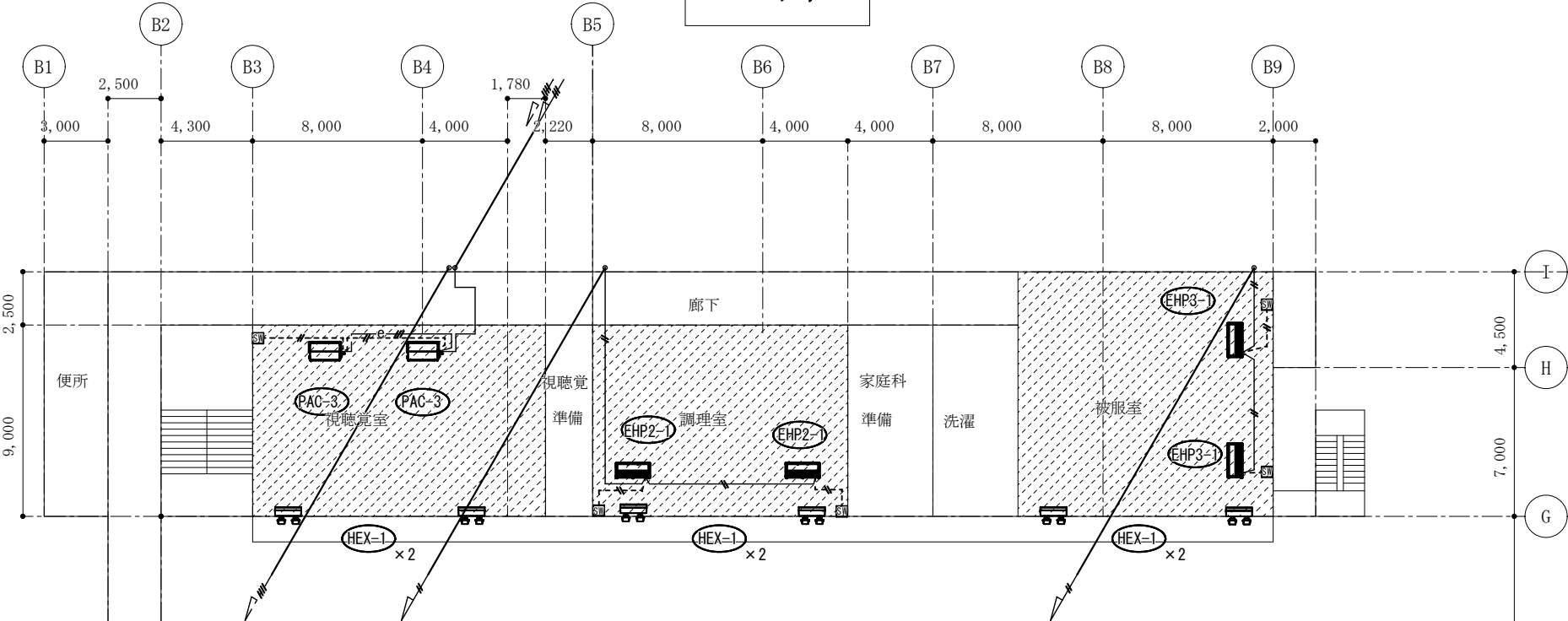
2階

B棟

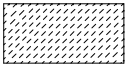
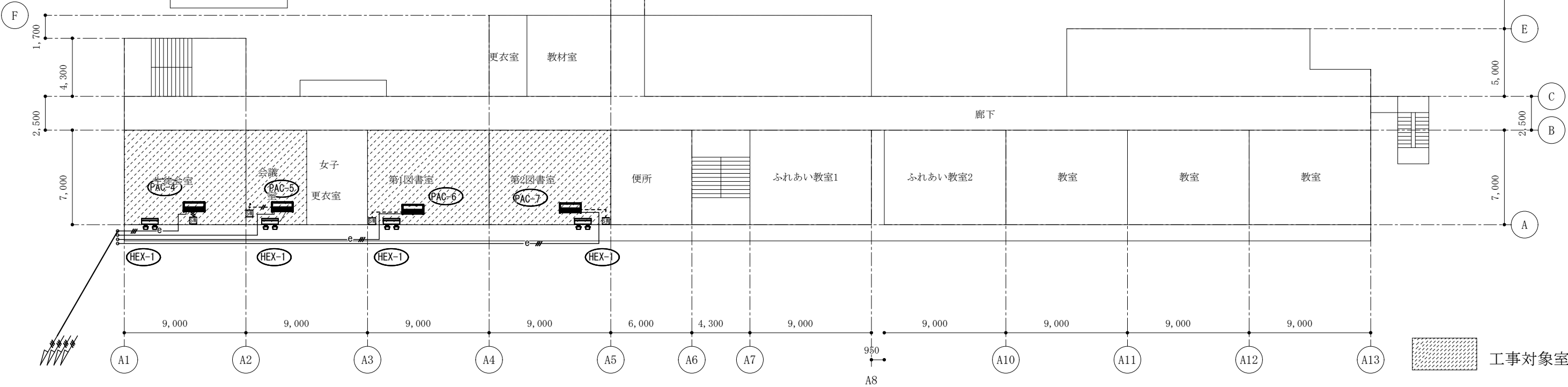
凡 例

(集中コントローラ系統) -----#-----	EM-CEE-S1.25 [□] -2C (G16)	連絡配線
(PAC・AC系統) -----#e-----	EM-CEE-S1-S.25 [□] -3C EM-EEF2.0-3C+E1.6 冷媒共巻	連絡配線 屋内機電源線
(EHP系統) -----#-----	EM-CEE-S1-S.25 [□] -2C 冷媒共巻	連絡配線
SW-----	EM-CEE-S1.25 [□] -2C (MM-A)	リモコン配線
▢	集中コントローラー	
⊗ PB	ブルボックス	

※制御線・電源線仕様は、選定メーカ基準に従う事。



A棟



工事対象室

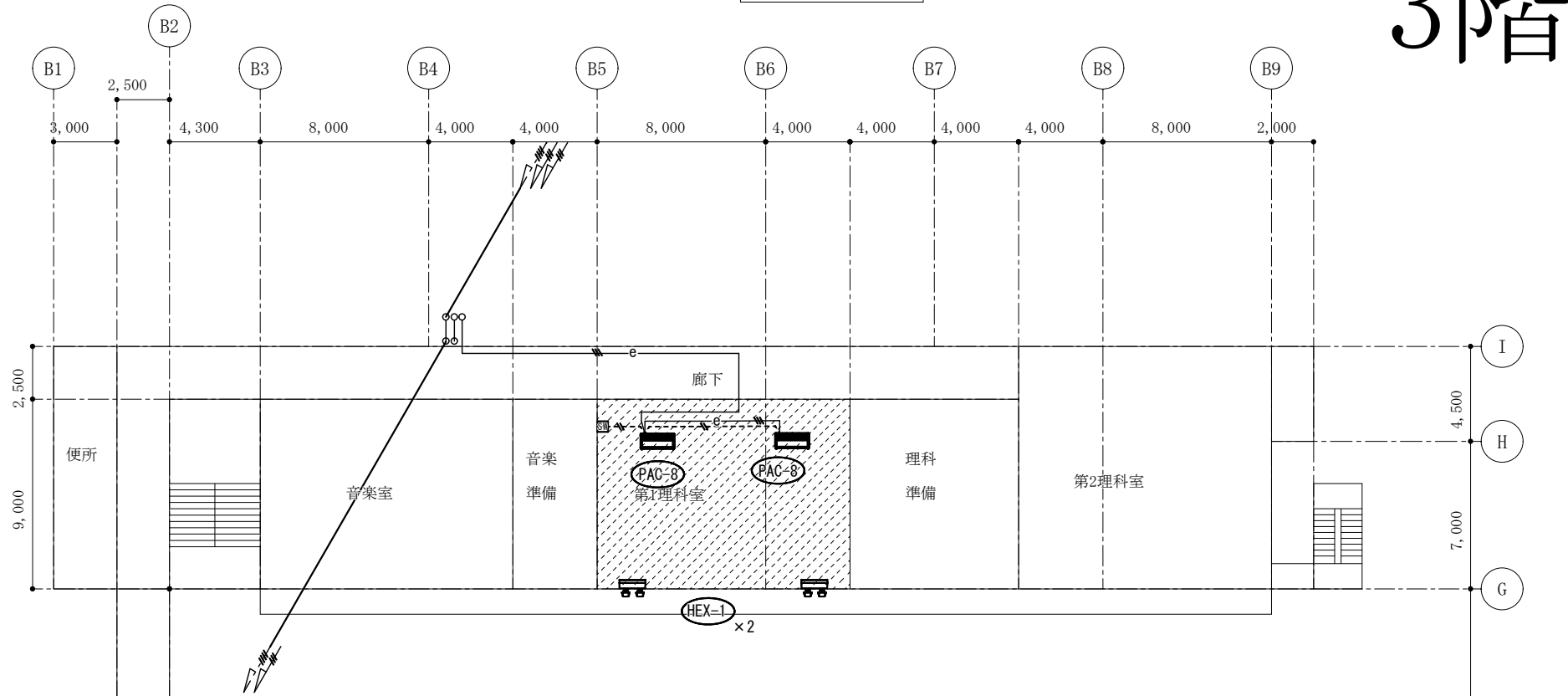
3階

B棟

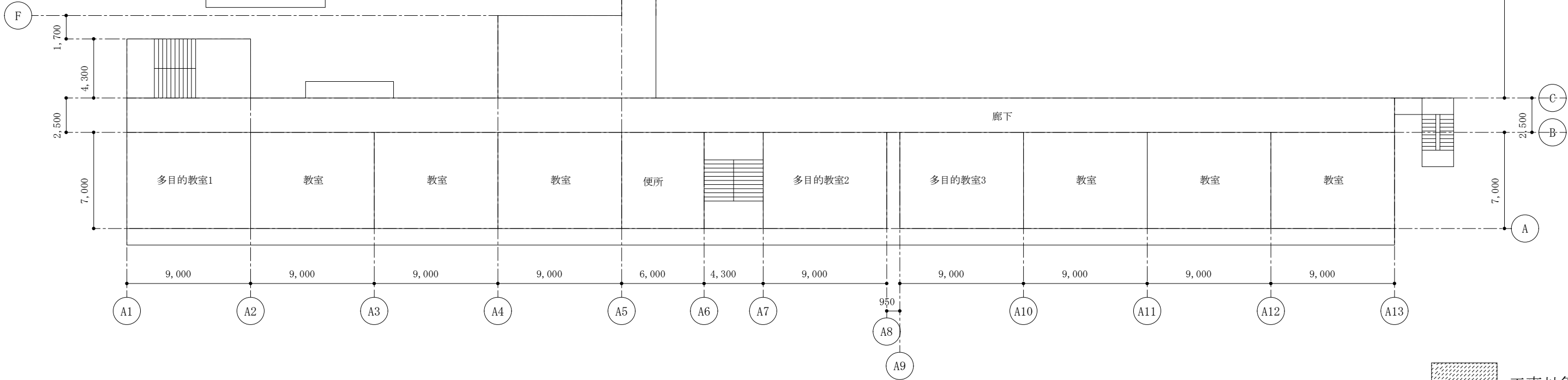
凡 例

(集中コントローラー系統) -----//-----	EM-CEE-S1.25□-2C (G16)	連絡配線
(PAC・AC系統) ---//e---	EM-CEE-S1-S.25□-3C EM-EEF2.0-3C+E1.6 冷媒共巻	連絡配線 屋内機電源線
(EHP系統) ---//---	EM-CEE-S1-S.25□-2C 冷媒共巻	連絡配線
SW-----	EM-CEE-S1.25□-2C (MM-A)	リモコン配線
▨	集中コントローラー	
⊠ PB	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ	

※制御線・電源線仕様は、選定メ-カ基準に従う事。



A棟



工事対象室

B棟

R階

